

平成24年度

# 事業報告書

ともえ学園

## 基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の尊厳にふさわしい施設支援を保障し、必要なサービスを提供する。

- ①利用者の人格、生活史そして要求を尊重し、施設入居によって本人の尊厳や利益が損なわれないよう、相手の立場をよく理解する。
- ②利用者には、社会生活上の知識や文化的な刺激を受けられるよう積極的な生活の援助を怠らない。
- ③利用者の人格や行動を情緒豊かに受け止め、共感し、共に向上できる職員となる。

## 【重点事項】

- ①コミュニケーションの積極的推進
  - ・個々に対するコミュニケーション手段を確立し正確に意志を伝える。
  - ・体罰、人権侵害の根絶。専門性の追求と処遇技術の改善。
  - ・深い信頼関係の構築（感情的、場当たりの対応の禁止）
  - ・適切な呼称（名前の呼び捨て禁止、「さん」づけ徹底）
  - ・個々の表現、要求、行動を原因から理解、把握し誠実に応える。
  - ・個々の価値観を尊重し、対話を深める。
- ②個々の課題の見直しと、的確な優先課題を設定しそれを推進する。
  - ・優先課題に対する一貫した取り組みを推進し、適宜評価を行う。
- ③個々の可能性を模索し、その開発と援助を行う。創造活動の推進。
- ④生活態様と生活環境を検討し、現状に満足することなく質の向上をさせる改善を行う。
- ⑤無人販売所を積極的に活用し、地域との交流を深める。
- ⑥年間自己研修計画を策定し、積極的に取り組む。
- ⑦3つのグループ分けにより個別対応を深め、一貫した対応を図る。
- ⑧安全と日常の防災意識を高揚し、非常時には適切な対応を行う。
- ⑨個人情報の保護

## 1 利用者の状況

### 1 年間の入退所者状況

定員 70名

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月初在園数 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70  | 70  | 70  | 70 | 70 | 70 |
| 入所    | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  |
| 退所    | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  |
| 月末在園数 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70  | 70  | 70  | 70 | 70 | 70 |

### 2 短期入所事業受入状況

定員 2名

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 受入人数  | 2  | 2  | 3  | 2  | 1  | 2  | 3   | 3   | 1   | 2  | 2  | 3  | 26  |
| 受入回数  | 6  | 4  | 7  | 6  | 2  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  | 6  | 61  |
| 受入延日数 | 17 | 15 | 20 | 15 | 11 | 16 | 16  | 20  | 15  | 15 | 14 | 20 | 194 |

### 3 日中一時支援事業受入状況

定員 若干名

平成24年度は受け入れ無し。

### 4 在所者状況（平成25年3月31日現在）

| 年 齢      | 男  | 女 | 計  |
|----------|----|---|----|
| 18～20歳未満 | 0  | 0 | 0  |
| 20～25歳未満 | 1  | 0 | 1  |
| 25～30歳未満 | 6  | 0 | 6  |
| 30～35歳未満 | 4  | 0 | 4  |
| 35～40歳未満 | 14 | 1 | 15 |
| 40～45歳未満 | 18 | 1 | 19 |
| 45～50歳未満 | 14 | 2 | 16 |
| 50～55歳未満 | 7  | 0 | 7  |
| 55歳以上    | 2  | 0 | 2  |
| 計        | 66 | 4 | 70 |

| 在 園 年 数  | 男  | 女 | 計  |
|----------|----|---|----|
| 0～1年未満   | 2  | 0 | 2  |
| 1～5年未満   | 4  | 0 | 4  |
| 5～10年未満  | 6  | 1 | 7  |
| 10～15年未満 | 9  | 0 | 9  |
| 15～20年未満 | 31 | 2 | 33 |
| 20年以上    | 14 | 1 | 15 |
| 計        | 66 | 4 | 70 |

| 診 断 名  | 男  | 女 | 計  |
|--------|----|---|----|
| 自閉症    | 49 | 3 | 51 |
| 精神発達遅滞 | 11 | 0 | 11 |
| てんかん   | 4  | 0 | 5  |
| 統合失調症  | 1  | 1 | 2  |
| その他    | 1  | 0 | 1  |
| 計      | 66 | 4 | 70 |

| 障害程度区分 | 男  | 女 | 計  |
|--------|----|---|----|
| 6      | 21 | 0 | 21 |
| 5      | 24 | 2 | 26 |
| 4      | 18 | 2 | 20 |
| 3      | 3  | 0 | 3  |
| 計      | 66 | 4 | 70 |

| 出身市区町   | 男  | 女 | 計  |
|---------|----|---|----|
| 広島市中区   | 3  | 1 | 4  |
| 広島市東区   | 2  | 1 | 3  |
| 広島市南区   | 5  | 1 | 6  |
| 広島市佐伯区  | 9  | 0 | 9  |
| 広島市安佐北区 | 3  | 0 | 3  |
| 広島市安佐南区 | 4  | 0 | 4  |
| 広島市安芸区  | 1  | 0 | 1  |
| 大竹市     | 2  | 0 | 2  |
| 呉市      | 8  | 0 | 8  |
| 福山市     | 4  | 0 | 4  |
| 廿日市市    | 1  | 0 | 1  |
| 三次市     | 4  | 0 | 4  |
| 東広島市    | 1  | 0 | 1  |
| 尾道市     | 2  | 0 | 2  |
| 竹原市     | 1  | 0 | 1  |
| 江田島市    | 1  | 0 | 1  |
| 庄原市     | 2  | 0 | 2  |
| 安芸郡熊野町  | 1  | 0 | 1  |
| 世羅郡世羅町  | 1  | 0 | 1  |
| 島根県松江市  | 2  | 0 | 2  |
| 山口県防府市  | 1  | 0 | 1  |
| 山口県周南市  | 1  | 0 | 1  |
| 山口県岩国市  | 2  | 0 | 2  |
| 山口県下関市  | 1  | 0 | 1  |
| 岡山県真庭市  | 1  | 0 | 1  |
| 富山県富山市  | 1  | 0 | 1  |
| 石川県津幡町  | 0  | 1 | 1  |
| 長崎県長崎市  | 1  | 0 | 1  |
| 東京都渋谷区  | 1  | 0 | 1  |
| 計       | 66 | 4 | 70 |

（宮崎静美）

## 2 トライアングルグループ

### 1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。  
ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

### 2 生活

- ①目標 基本的生活習慣の確立を目指す。  
健康、清潔の維持に努める。

②内容

衣 類 整 理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

棚にパジャマを置き、衣類カゴは洗濯室に返す。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行う。

女性浴室に洗濯機、乾燥機の設置。女性衣類のみ行い、夜勤者が片付ける。

シーツ交換：毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

衣 類：季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除：汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各居室のモップ掛けを行う。

一日一部屋確実に掃除をする。トイレは1日3回以上掃除を行う。

2月より午前、午後にピューラックスを使用し床拭きを行う。

ジェスパ塗布しドアノブの清掃を行った。

入 浴：体調の悪い人以外は毎日入浴し、清潔を保つ。

同性支援で行い、ゆっくり入ってもらうよう配慮する。

食 事：落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

- ・月1回血圧、体組成測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）
- ・毎週土曜日の午前、爪切り、その他身だしなみをチェックする。
- ・うがい、手洗い手指乾燥での手指消毒の励行。
- ・入浴後のケア：頭髪をドライヤーで乾燥させる。皮膚疾患・怪我等の薬を塗布する。
- ・受診：歯磨き時に口腔、入浴時には全身をチェックし、必要に応じ受診する。
- ・生活用品の補充（ジャンボロール・ハミガキチューブ・歯ブラシなど）を徹底する。
- ・髭剃りの個人持ち：管理は職員が行い、掃除も一日おきに行う。充電を週1回日曜日に行う。

③まとめ

- ・個別の利用者を対象に毎日の体重、食事量、排便記録表を作成
- ・朝夕以外にも必要に応じてその都度看護より指示を受け薬付けを行い、傷については早い治癒へつながった。

### 3 衛生・口腔ケア

①目的

利用者の健康維持管理

## ②内容

口腔内を衛生ケアする事によって、利用者の健康維持管理をする

歯磨きチューブを使用し、毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

毎週日曜日の午後数名づつ電動歯ブラシを使用し口腔ケアを行う。

月曜日から土曜日まで一人づつ順番に歯磨き支援を行う。（コンクール液を使用）

歯ブラシを夜間、医務室にてピューラックスにつけ置きを行う。

## ③経過、課題

昨年と同様に食後、毎週日曜日の午後6名位で、歯磨き支援（電動歯ブラシを使用）をした。

歯磨き支援（コンクール液・電動歯ブラシを使用）を行うことによって、歯肉炎、虫歯等早期に発見することが出来、その都度歯科治療に当たることが出来た。

今年度は感染性胃腸炎に罹患した利用者が外泊中に1名出たが、学園では1名も出なかった。

歯磨きを午後の日課に取り組んだ事により確実に実施できたのが、結果として出てきている。

磨き残しや虫歯、炎症などが無いかチェックし、仕上げ磨きをその都度行った。

歯石や歯肉炎また食後の残渣物、特に入眠前に5名スポンジブラシを使用し口腔内の清潔維持に努めた。

残渣物を除去することにより、口腔内の清潔保持また健康管理にも勤める事が出来た。

傷んだ歯ブラシはその都度更新したが、歯ブラシを噛む人や力いっぱい磨く利用者には頻繁に更新の必要があった。

歯磨き支援チェック表についても、その都度記入し看護に確認をしてもらっていた。

出血など少しずつ減っていたようで、歯の健康が良くなった。

普段の歯磨きが短めになりがちなので、時間をかけて出来た。

## 4 日課

### ①目標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぎ、利用者の安定につなげる。
- ・職員の役割分担を明確にし、スムーズに支援できるようにする。

### ②内容

#### ◇掃除について

- ・早出職員による居室掃除は1日1部屋を確実に出来るよう、チェック表を作成した。フィルター掃除も同時に行い、清潔な環境を保てるようにした。
- ・廊下、職員室の掃除を毎日夜勤者が行い、居室は毎日日勤者が担当した。また、爪切り・耳かき後にはリビングの掃除を行った。時間があれば、壁や窓の掃除も行った。
- ・トイレ掃除は、朝が夜勤者、昼が早出、午後が遅出と分担し、毎日行った。昼の掃除については日勤者が休憩から出てきてから（13：40）早出が行う事とし、利用者の見守りを充分に行えるよう配慮した。また、汚れていれば都度、掃除するよう心掛けた。
- ・各掃除場面ではスチームクリーナーを活用し、強力な汚れ等の除去を行った。

#### ◇トイレ誘導について

- ・放尿や失禁のある利用者について、日中のトイレ誘導を引き続き行った。
- ・日中のトイレ誘導する時間を明確にする。起床時・間食前・散歩前・入浴前・眠剤服薬後
- ・夜間のトイレ誘導は6名とし、基本的に就寝後、1時に誘導するよう取り組んだ。ただ、そのうち1名については見直しの結果、22時にも誘導を行った。

◇ロッカーの施錠について

- ・服破りやトイレへの服流し等が増加した為、年度当初は11名の居室で施錠を行ったが、見直しを行い14名となった。

◇午後の日課（散歩）について

- ・昨年に引き続き散歩を行った。人数確認の場所や職員の配置を決めて、安全に配慮しながら、散歩をスムーズに行えるようにした。
- ・天候や体調を考慮し、その日のリーダーの判断で散歩の場所（遊歩道、学園周り、室内）や参加者を決めた。また、強制的な参加はしない事とした。

◇ブログについて

- ・「トライアングルのできごと」について、月毎の予定表を作成し、コメントの管理を行った。

◇集いについて

- ・午前と午後の初めにリビングに集合してもらい、まずラジオ体操で軽く運動してもらおう。その後、当日の予定や食事メニュー、勤務者の紹介等を行った。集合のタイミングについてはテーマ曲を設定し、BGMで流す事によりスムーズに行動してもらった。

③まとめ

- ・日課の流れは定着しており、利用者の皆さんは時間に沿って混乱無く行動できている。
- ・午後の日課の散歩は安全に配慮し、スムーズに行えた。
- ・職員の増員がなされ、時にはグループ別の散歩や個別活動での散歩等、個々の利用者に添った支援や取り組みも行う事ができた。
- ・日課マニュアルにつて、変更が多く対応出来ていなかった事があった。来年度は早々に新たなマニュアルを作成し、その都度対応していきたい。

## 5 行事

①目標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらおう。

②内容

| 月 | 日  | 行 事 名  | 参加人数 | 場 所              |
|---|----|--------|------|------------------|
| 4 | 10 | お楽しみ外出 | 2名   | 土師ダム             |
|   | 12 | 花見会    | 25名  | 尾関山公園            |
|   | 18 | 日帰り旅行  | 2名   | 広島交通科学博物館        |
| 5 | 3  | バスドライブ | 15名  | 風土記の丘            |
|   | 10 | バスドライブ | 25名  | 世羅夢公園            |
|   | 14 | 宿泊旅行   | 3名   | 鳥取県境港市夢みなとタワー 他  |
|   | 18 | 日帰り旅行  | 3名   | 鯛匠の郷 他           |
|   | 20 | 球技大会   | 6名   | 広島修道大学           |
|   | 30 | お楽しみ外出 | 3名   | 広島空港（三原市）        |
| 6 | 7  | バスドライブ | 25名  | 灰塚ダム             |
|   | 18 | お楽しみ外出 | 3名   | 神之瀬フィッシングクラブ（君田） |
|   | 20 | 宿泊旅行   | 4名   | 見奈良温泉            |
| 7 | 5  | バスドライブ | 25名  | 高宮道の駅            |

|    |    |        |     |                |
|----|----|--------|-----|----------------|
| 7  | 11 | お楽しみ外出 | 3名  | 安瀬平牧場          |
|    | 25 | 日帰り旅行  | 3名  | 三瓶             |
| 8  | 2  | お楽しみ外出 | 3名  | カラオケ（三次市）      |
|    | 4  | 夏祭り    | 25名 | 多目的棟           |
|    | 16 | バスドライブ | 19名 | 高宮Aコープ         |
|    | 30 | お楽しみ外出 | 3名  | カレード牧場         |
| 9  | 6  | バスドライブ | 25名 | 庄原上野公園         |
|    | 10 | 日帰り旅行  | 3名  | 出雲大社           |
|    | 20 | 日帰り旅行  | 3名  | しまね海洋館アクアス     |
|    | 26 | 宿泊旅行   | 2名  | マツダズームズームスタジアム |
| 10 | 6  | 親子レク   | 25名 | きさ安田パークゴルフ場    |
|    | 24 | 宿泊旅行   | 4名  | 島根県立宍道湖記念館ゴビウス |
| 11 | 7  | 日帰り旅行  | 3名  | 安佐動物公園         |
|    | 10 | バスドライブ | 25名 | 三次運動公園         |
|    | 12 | お楽しみ外出 | 3名  | せら夢公園          |
|    | 14 | 宿泊旅行   | 4名  | 秋芳洞            |
| 12 | 14 | 忘年会    | 25名 | センタープレイルーム     |
|    | 18 | お楽しみ外出 | 3名  | 広島県立三次公園       |
|    | 21 | 日帰り旅行  | 2名  | 宮島水族館          |
| 1  | 12 | 新年会    | 25名 | 出雲大社三良坂分院      |
|    | 16 | 日帰り旅行  | 2名  | 大和ミュージアム       |
|    | 24 | お楽しみ外出 | 3名  | 庄原ラ・ムー         |
| 2  | 7  | バスドライブ | 25名 | 庄原上野運動公園       |
|    | 20 | 日帰り旅行  | 3名  | 尾道 魚蔵三代目 源房    |
|    | 26 | お楽しみ外出 | 3名  | ゆめタウン吉田        |
| 3  | 11 | バスドライブ | 25名 | 神楽門前湯治村        |
|    | 21 | お楽しみ外出 | 3名  | 世羅ゆめ公園         |
|    | 27 | 日帰り旅行  | 2名  | 呉方面            |

### ③まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事・お楽しみ外出・バスドライブを実施した。  
バスドライブでは、自分で金額を定め、その中で好きな物を選んで買う事を行って見たが、特に問題は無く良かった様に思う。
- ・宿泊旅行・日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・お楽しみ外出は、今年度もクラブ活動後（昼食後）より出掛ける事で外出の時間が短かったが、無理なく外出を楽しめたように思う。
- ・外出する場所も色々な場所を取り入れ良かったと思う。
- ・親子レクでは、今年はグランドゴルフを家族の方と行い、楽しくゆっくりとした時間を過ごしていただいた。
- ・外泊がない利用者の方の外出をもう少し組むことが出来たら良いと思う。

## 6 環境

### ①目的

利用者が生活しやすくなることや職員の業務が効率的に行えるよう環境整備を行う。

## ②内容

分別用のゴミ箱を設置した。

スチームクリーナーを購入し除菌や清掃を行った。

指導員室にホワイトボードを設置した。

利用者に掲示物を見てもらうようにした。

女性棟洗面所下に髭剃りの充電器を設置した。

リビングにベンチを置いた。また、このベンチで服薬を行うようにした。

## ③経過、課題

環境整備を行う必要はあるが物を取られたり、破壊される恐れがある為、制約される面が多い。

しかし各居室に椅子とテーブルくらいは置けるようにしたい。その他にも居室内を充実させ潤いのある生活環境を提供していくことが課題である。

# 7 個別活動

## ①目的

利用者が集団ではなく個別に活動することで本人の嗜好や特性を探ることを目的とする。

## ②内容

個別支援計画書の提出。その後、計画に沿って随時実施。

## ③経過、課題

トライアングルでは今年度から新たに始まったのだが、当初はいつどのように行うのかははっきりと決まっていない面が多く開始まで時間がかかった。会議で煮詰めていきようやく実施に至ったのだが、職員の確保が難しく予定通りに実施出来ないこともあった。それでも行ってみると、利用者の新たな一面がみられたり可能性を感じることでできる取り組みになった。計画の見直し、職員の確保など課題は残るが今後も継続して行えばより良い支援にもつながる取り組みであると思う。

# 8 グループ活動

## ①目的

利用者の健康維持と体力筋力向上、体重の減量

## ②内容

日曜日などのグループ活動の際に、購入したバスケットゴールを使用したり、サッカーボールを使いボール運動を行った。

雨天時や学園での行事前になると、出し物をリビングで作成するなどの作業も行った。

## ③経過、課題

バスケットに関しては、殆どの利用者さんが行うことが出来た。また、ボールをゴールへ入れるという動きは運動量もあり体力作りにも効果があると感じた。反面一部の利用者さんは興味を示すことなく、理解もできていなかったため、次回の課題として考えていかなければならないと感じた。

全体的にグループ活動として運動をする機会が少なかったため、十分な体力作りを行う事が出来なかった。

# 9 グループ会議

## ①目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。  
ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

## ②内容

|     |                    |            |    |
|-----|--------------------|------------|----|
| 4月  | 午後日課・与薬マニュアル確認、見直し | ケースカンファレンス | 3名 |
| 5月  | 高齢化に向けた対応について      | ケースカンファレンス | 2名 |
| 6月  | 午前日課・個別活動について      | ケースカンファレンス | 3名 |
| 7月  | 生活・日課の確認           | ケースカンファレンス | 3名 |
| 8月  | 個別活動・親子レクについて      | ケースカンファレンス | 3名 |
| 9月  | 人権・日課の見直しについて      | ケースカンファレンス | 3名 |
| 10月 | 生活・歯磨き支援について       | ケースカンファレンス | 3名 |
| 11月 | 午前日課・生活について        | ケースカンファレンス | 8名 |
| 12月 | 感染症予防・洗濯マニュアルについて  | ケースカンファレンス | 2名 |
| 1月  | 親の会懇親会出し物について      | ケースカンファレンス | 2名 |
| 2月  | 感染症予防について          | ケースカンファレンス | 6名 |
| 3月  | 来年度について            | ケースカンファレンス | 6名 |

## ③経過、課題

今年度、個別活動を日課の中に取り入れることを想定して日課の内容確認、見直しを行いながら無駄のない動きが出来るように協議を重ねた。細かな確認事項などについてはまだ見直しが必要な部分があるが、利用者支援を第一にした日課になってきているように感じる。ケースについては問題に対する対応だけにとどまらず、課題設定に対する取り組みなどを協議検討する場を持つことができたことは、支援において今後に向けての大きな収穫となるように感じている。

## 10 まとめ

今年度は2名の新任職員が入られ、前年度のグループ職員9名体制から10名のグループ職員となり、利用者支援の幅を拡げる取り組みも行えるようになった。その中でも個別活動を取り入れたことが大きな取り組みにあげられる。準備不足などから年度終わりに近づいた頃から取り組みが始まったことは反省点となるが、利用者一人ひとりのニーズを拾い上げること、利用者の意外な一面を知るなどの効果は得られたように感じている。衛生面においては今年度も口腔ケアを重点的に実施し、口腔内の清潔維持、感染症予防に努めた。歯茎からの出血が減るなどの効果の他、感染症予防にも大きな効果が出たと考察する。これから利用者の高齢化などにより、体力や様々な機能低下が現れてくると考えられるので、早期より低下予防の対策を講じる必要を感じている。運動プログラムなどを更に充実したものにしていきたい。

(塚本博志、山地恵子、堂西美保、高場修治、桑田樹実、  
藤 頼久、菅原献司、見土 唯、熊澤誠治、瀬戸 彩)

## 3 レインボーグループ

### 1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を取り入れた対応をし、安定して穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。

- ・安全で清潔な生活環境を提供する。
- ・楽しみのある生活を送る。

## 2 生活

### 1) 生活全般

#### ①目的

- ・基本的生活習慣の確立を目指す。
- ・健康で規則正しい生活を送られるよう支援する。
- ・歯科治療、皮膚疾患、外傷などの予防、対応。

#### ②内容

##### 〔生活〕

食 事：脂質異常食、肝臓病食を取り入れる。

ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮をおこなう。

一人ひとりにあった支援を探り、絶えず見なしをおこなう。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。介助しながら洗髪・洗体の自立を目指す。また怪我等無いかの全身のチェックをおこなう。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、確認による健康状態の把握に努めた。

排泄後始末介助と援助（ちり紙を渡す）をおこなう。排便確認し、排便があった場合は量や状態を日誌に記入する。

3月より朝食後と昼食後に全員のトイレ誘導、排便チェックを実施。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行う。

午後から山の遊歩道と生活棟の周りの散歩をおこなった。雨天時には室内やセンター内ウォーキングを行った。

寝 具：週一回シーツ交換、また日常的な汚れはその都度交換した。

布団乾燥機を使用して布団を乾燥する。天気の良い日には外に干す。

リビングに夏はタオルケット、冬は毛布5枚を共有の物として使用している。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをした。

衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつけた。

日用品：在庫確認による常備。早めの発注を心掛けた。

掃 除：掃除の徹底による安全・清潔な生活空間の確保。

感染症発症予防期間（冬場）、ピューラックスを入れた水で、一日二回廊下を水拭き。ドアノブ拭き。その他の期間は化学モップでの床拭き。リビングはスチームモップ拭き。毎日一部屋居室掃除をした。一日3回トイレ掃除を行った。

##### 〔衛生〕

手洗い：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添えシャボネットを泡立てる等個別支援による確実な手洗いを行う。手指乾燥機による確実な拭き取り。

口 腔：毎食後の歯磨き実施。仕上げみがきを行う。歯ブラシの交換。

毎週末（土・日）に口腔ケアを行いコンクールでブラッシングをし、歯周病防止に努めた。月2回、口腔状態を記録しパソコンでデーター化して看護との連携を行った。外出後にはイソジンによる口腔内消毒。歯ブラシを夕食後、ピューラックス薄め液で消毒殺菌をおこなう。

顔拭き：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭きを行う。

髭剃り：起床後、個人用の電気カミソリでの髭剃り実施。

散 髪：定期的に実施。個々にあった髪型にする。

薬付け：入浴後、処置記録表を元に確実に実施。すり傷、切り傷等の消毒や軟膏塗布については、その時の利用者の状況に応じた処置をした。

個別に、点眼薬や、皮膚疾患への薬の塗布を、食後や決まった時間に行った。

加 湿：感染症予防対策でクリーンボーイによる加湿を冬場1日2回行った。

服 薬：利用者に椅子に座ってもらい、2名で対応し誤薬に注意した。

消 毒：感染症発症予防期間には、ピューラックス、ジェSPAを使い、清掃を行い感染防止に努めた。

### ③経過、課題

- ・利用者の年齢が上がり健康状態の観察が年々必要になっている。身体の変調等、日頃の様子観察をし、看護との連携を密とする。細かいことでも看護に相談を行い、迅速な処置をしていく。
- ・身だしなみについては、着衣のみだれ、衣類の補修、補充、季節に合った衣類などを迅速に行う。
- ・生活環境を清潔にし感染症を発症させないように掃除を徹底する。

## 2) クラブ活動

### ①目的

- ・午前日課係と連携し、利用者が安定して活動しやすい場の提供。
- ・スムーズに活動できるよう準備や配慮を行う。
- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。

### ②内容

- ・月曜日～金曜日の午前

※きのこクラブ …… 15名 ホダ木の移動、水槽浸け、植菌、落ち葉・草集め

(雨天、冬季はセンター内ウォーキング、マシンの使用、太極拳)

※リサイクルクラブ …… 2名 空き缶潰し、スチール缶のプルトップ外し

※いきいきクラブ …… 4名 ラジオ体操、転倒予防・口腔体操、学園周辺のウォーキング

(雨天、冬季は室内ウォーキング)

毎月最後のクラブ活動日には月例会を行い、評価をおこなった。

### ③経過、課題

- ・体調不良や調子が悪くて活動に参加できない利用者もいたが、1年間頑張ってクラブ活動に参加することができた。
- ・個々の適性や好みに合った配置が難しく、今後の課題である。

## 3) 散歩

### ①目的

- ・体力作り
- ・健康維持

### ②内容

- ・2つのグループに分かれて生活棟周り、山の遊歩道を散歩する。生活棟周りコースの利用者

は歩くペースが違うが、2名の職員で対応することにより細かい支援ができるようになった。

- ・雨天時は、生活棟内や療育センター内をウォーキングした。

### ③経過、課題

- ・個々の体調や体力に合わせて散歩を行った。（学園周り3～5周、遊歩道1～2周など）
- ・雨、雪などの天候不良の日には、室内でのウォーキングが主になった。

## 4) 創造活動

### ①目的

- ・創造活動により生活の幅を広げ、利用者の新しい面を発見する。

### ②内容

- ・毎週水曜日の午後を活動の時間とする。
- ・季節や行事に合わせ、塗り絵や広告・色紙を使用し貼り絵をしてもらう。  
（鯉のぼり、母の日の似顔絵、七夕飾り、うちわ作り、カープぼうや、紅葉、クリスマスツリー、お正月飾り、書き初め、鬼の面、桜の花、梅の木）

### ③経過・課題

- ・個々に作成した物よりレインボー利用者21名で協力して作成した物の方が多かった。その結果個性を出す事は難しかったが、全員参加は達成する事ができた。
- ・貼り絵を中心に1年間やってきたが、もっと大きな物を用意し自由に貼りつけてもらう事で個性を出せば良かったと感じた。
- ・創造活動を通して利用者の可能性を引き出せるような活動を引き続き模索していきたい。

## 5) 個別活動

### ①目的

- ・少人数で活動をする事により利用者への理解を深め、利用者の新たな側面を確認し今後の生活や活動の向上につなげていく。

### ②内容

- ・月～金 15:00～約30分間、利用者にあった活動を職員と一対一や二対二で行う。
- ・プール・散歩・音楽鑑賞を行う。プールは生活棟内、中庭に設置。音楽鑑賞はキーボードや歌が流れる絵本を使用する。
- ・利用者の活動の様子、福祉の森、ケース記録へ記入した。

### ③経過・課題

- ・プールについては関心の高い利用者が多く、自ら着替えて参加する利用者もいた。
- ・散歩については、利用者のペースで、ゆっくりと言葉掛けをしながら歩くことができた。
- ・音楽鑑賞については、童謡をよく知っており歌うことのできる利用者があることがわかった。
- ・一対一や二対二で活動を行う事により、各利用者への深い関わりができ新しい側面を見る事ができたと思う。活動時間（約30分弱）については、利用者のストレスになることを考えると適切だったように思える。
- ・天候や利用者の状態により活動内容に変更があり、臨機応変の対応を行った。
- ・利用者によっては、個別課題支援計画に基づいた、より具体的な活動を行っていきたい。

## 6) 環境

### ①目的

- ・怪我のない安全な空間を提供する。
- ・破損した物の交換と対策。
- ・利用者が楽しみを持って生活出来る環境作りを目指した。

## ②内容

- ・外泊期間中にグレーチング・空調フィルター・倉庫の掃除・居室の換気や中庭の掃除を行った。
- ・壁や戸、カーテンの補修、ベッド点検のなどの損傷箇所があった時には随時営繕を行った。
- ・利用者の居室の掃除用にチェック表を作成し、毎日、遅出の職員が一部屋掃除を行った。
- ・布団干し台を補充して、天気の良い日は中庭に布団を干した。また布団乾燥機を購入し利用者の居室ごとのチェック表を作成し、毎日一部屋ずつ乾燥した。
- ・湿度が低い時にはクリンボーイを使用し加湿を行った。
- ・窓が汚れた時は、その都度窓を綺麗に拭いた。
- ・トイレ、居室の掃除など衛生的な生活棟を維持するため、道具の整備、補充を行った。
- ・リビングに大画面テレビと収納棚を設置し、利用者が見やすく楽しめる環境となった。DVDデッキ、カラオケも設置し何時でも楽しめる様になった。
- ・リビング床を清潔に保つため上履きを脱いで過ごすこととし、マットを購入してくつろげる空間を設けた。

## ③経過、課題

- ・トイレの臭いや汚れを解消する為、トイレチェック表で確認を行いこまめに掃除を行った。臭いや汚れがある時には、早急に掃除した。
- ・壁の損傷（穴など）ができた時は短時間で修復可能な場所は直ぐ、時間が掛かる所は営繕係に依頼して修復してもらった。
- ・大画面テレビでは利用者にも好評で、見たいテレビ番組を希望する利用者もいるが、音楽を聴きたい利用者もいる。音楽を聴く場合テレビの音声は出なくなるので、テレビだけについてて、音は曲が流れている状態になっている。
- ・リビングに靴を脱いで上がることが、難しい利用者があるので、その都度声掛けが必要。

## 7) ブログ

### ①目的

- ・ホームページのブログを通じて利用者の生活や様子を、家族や各方面に発信する。

### ②内容

- ・行事や日課、日々の生活風景等を定期的に紹介した。

### ③経過・課題

- ・撮影対象者の一ヶ月ごとの表を利用者に応じた計画で作成した。
- ・不適切な表現にならないように注意しながら、レインボーグループでの生活の様子を紹介する。
- ・より充実した内容となるように、画面や配色、文字校正など、色々なところに視点を置いた。
- ・写真や文章などわかりやす工夫していく事が今後の課題である。

## 8) 日課、日誌

### ①目的

- ・だれにでも分かる日課表の作成。

- ・ 確実、かつスムーズに支援する為の日課表の作成。
- ・ 利用者の状況や確実な支援が行える為の日誌様式の変更をおこなった。

## ②内容

- ・ 一日の流れと勤務形態の流れを分かりやすく記載した。
- ・ 利用者の動きや日課の流れを確認して記載した。
- ・ ミスの起こらない支援ができるよう、各マニュアルの変更と徹底化を行った。
- ・ 排泄状況と排泄支援の確認、また血圧測定に新たに追加し確認欄を追記した。
- ・ 利用者の状況に応じて変更を行った。
- ・ 1月の日誌より両面印刷とする。日勤帯を表ページ、夜勤帯を裏ページとした。

## ③経過・課題

- ・ 毎日、特定の利用者に担当職員をつけている。随時見直しを行った。
- ・ 定期的に日誌様式の見直しを行った。
- ・ 各マニュアルや日課の変更に伴っての訂正が遅れることがあった。

# 9) 記録

## ①目的

- ・ 利用者の記録を、利用者の方が理解される形で提供し、生活を振り返ったり、行事や外出などの思い出を楽しんで頂く。
- ・ 生活の充実を図る。

## ②内容

- ・ 毎月発行のともえ通信を生活棟に掲示。

## ③経過、課題

- ・ 全ての方ではないが、何名かは興味深そうに見ておられた。
- ・ 今後は、ともえ通信に使用した写真以外の写真を掲示し、色々な利用者の方に自分の写真を楽しんで頂けたら良いと思う。

# 10) 業務改善

## ①目的

- ・ 業務の省力化、効率化、見直し。
- ・ 提案を行う。

## ②内容

- ・ グループ会議前に施設内メールを活用してグループ職員全員に議題を上げてもらい、会議で話し合う。または施設内メールで課長に相談し改善を行う。
- ・ グループ内だけでなく、他グループの仕事でもレインボー職員がした方が効率が良いこと、業務を効率よく行うために他グループにして欲しいことについては改善を行った。
- ・ リビングへ大型テレビ設置に伴い、棚の整備提案をおこなった。

## ③経過・課題

- ・ 話し合って決まったことは実施できている。（職員室のタオル、台ふき交換をレインボー職員が行う。）
- ・ まだまだ効率悪く仕事をしている所があると思う。改善することで利用者さんに関われる時間が増えると思う。
- ・ グループ職員に問い掛けても半分しか議題があがらなかった。日々、改善出来る事はないか、

考えながら業務をおこない、職員からの改善提案を出し易いやり方を模索したい。

### 3 行事

#### 1) 誕生者外出

##### ①目的

- ・誕生日を迎えた事を感じてもらう。

##### ②内容

- ・誕生日の日（もしくは近日）に午後から外出をする。

| 外出日    | 年齢  | 外出先                   |
|--------|-----|-----------------------|
| 4月 4日  | 40歳 | 喫茶21番館、君田遊園           |
| 4月16日  | 47歳 | 三次公園                  |
| 4月23日  | 37歳 | 三次運動公園カルチャーセンター       |
| 6月17日  | 35歳 | 風季舎、三次公園              |
| 6月30日  | 44歳 | 風季舎、衣料品店              |
| 7月27日  | 64歳 | 風季舎、衣料品店              |
| 7月27日  | 46歳 | ジョイフル、衣料品店            |
| 8月 5日  | 48歳 | CCプラザ・みよし公園           |
| 8月31日  | 44歳 | 総領町なかつくに公園            |
| 9月28日  | 50歳 | CCプラザ                 |
| 10月 9日 | 39歳 | CCプラザ                 |
| 11月 3日 | 41歳 | 喫茶21番館、君田案山子通り        |
| 11月10日 | 44歳 | 衣料品店、コーヒーショップ「バン」     |
| 11月24日 | 46歳 | 風季舎、衣料品店、三次運動公園       |
| 11月26日 | 42歳 | 風季舎、三次運動公園            |
| 11月30日 | 46歳 | コーヒーショップ「バン」          |
| 12月13日 | 40歳 | サングリーン、三次運動公園         |
| 12月27日 | 27歳 | モスバーガー、カラオケ「パル」、CCプラザ |
| 1月19日  | 44歳 | 喫茶「田園」                |
| 2月10日  | 25歳 | みよし運動公園、サングリーン        |
| 2月15日  | 34歳 | サングリーン、三次運動公園         |

##### ③経過、課題

- ・誕生日である事を理解し、年齢や興味など、個々の利用者に合った外出を計画していく事が課題である。

#### 2) レクリエーション

##### ①目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

##### ②内容

- ・レインボー会議のある日の午後に、季節に応じたレクリエーションを行う。

|        |       |   |                                           |
|--------|-------|---|-------------------------------------------|
| 4月13日  | お花見会  | ： | 学園桜の下で会食後、バスドライブ（尾関山公園）                   |
| 8月 3日  | 夏祭り   | ： | スイカ割り、かき氷、花火見学（多目的棟）                      |
| 12月15日 | 忘年会   | ： | 会食、カラオケ、日々の写真を使用した1年の振り返り<br>(センタープレイルーム) |
| 1月11日  | 新年会   | ： | 会食（センタープレイルーム）初詣（鷺神社）                     |
| 3月 8日  | お楽しみ会 | ： | 会食（センタープレイルーム）                            |

## バスドライブ（灰塚ダム公園）

### ③経過、課題

- ・花見、夏祭り、新年会など、レクリエーションの時間を通して季節を感じて頂ける事が出来たと思う。

### 3) バスドライブ・バスハイキング

#### ①目的

- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・普段と違う場所での散策を楽しむ。

#### ②内容

- ・レインボー会議のある日の午後にマイクロバスと8人乗りワゴンに分乗してドライブ。昼食のお弁当や間食を持って行き、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんでもらった。

| 実施日    | 行き先         | 参加人数 |
|--------|-------------|------|
| 5月 4日  | 庄原運動公園      | 15名  |
| 5月11日  | 灰塚ダムなかつくに公園 | 21名  |
| 6月 8日  | とみしの里       | 21名  |
| 7月18日  | 風土記の丘       | 21名  |
| 9月 7日  | 高野・大鬼谷キャンプ場 | 21名  |
| 9月19日  | 備北丘陵公園      | 21名  |
| 11月 8日 | 灰塚ダム記念公園    | 21名  |
| 2月 8日  | 風土記の丘       | 21名  |

※はなまると合同での実施

### ③経過、課題

- ・体調不良者も無く、全ての行事に全員が参加できた。
- ・散歩や遊具で遊ぶ時間をしっかり取り、のんびりとした時間を過ごせてもらえた。
- ・利用者は大変楽しみにされていた。

### 4) 外出

#### ①目的

##### カフェ外出

- ・外出することにより気分転換をはかり、通常生活の励みにする。

##### ランチ外出

- ・好きな昼食を食べ、一日をゆっくりと過ごし、気分転換をはかる。
- ・色々な経験の場を提供する。

##### スケッチ外出

- ・スケッチブック等の絵画の道具を持って、絵を描いてもらう。
- ・利用者の機能、可能性を確認する。

##### 宿泊旅行

- ・ドライブや観光を通して気分転換を行い、学園生活の励みになるような時間を過ごす。
- ・旅行を通して学園では出来ない体験をしてもらい楽しく親睦を深める。

#### ②内容

- ・カフェ外出は平日（主に火曜日）の午後から、ランチ外出は午前中から出かけた。

宿泊旅行は1泊2日で外出した。

| 実 施 日     | 内 容                          |
|-----------|------------------------------|
| 4月 24日    | ランチ外出：ジョイフル吉田店、三次公園          |
| 5月 8日     | カフェ外出：神楽門前湯治村                |
| 5月 15日    | カフェ外出：吉田ゆめタウン                |
| 5月16・17日  | 宿泊旅行：福山みろくの里、仙酔島、福山動物園       |
| 6月 5日     | カフェ外出：備北丘陵公園                 |
| 6月 14日    | ランチ外出：広島市内・すたみな太郎、衣料品店       |
| 6月 26日    | カフェ外出：土師ダム                   |
| 7月12・13日  | 宿泊旅行：蒜山高原、とっとり花回廊            |
| 7月 17日    | カフェ外出：三次運動公園                 |
| 7月 20日    | ランチ外出：CCプラザ、備北丘陵公園、子鹿学園、こじか荘 |
| 8月 7日     | カフェ外出：島根県民の森                 |
| 8月 21日    | カフェ外出：三次公園                   |
| 8月 28日    | スケッチ外出：東城町・リストーロ、マクドナルド      |
| 9月 4日     | カフェ外出：高宮・大狩山                 |
| 9月 12日    | 宿泊旅行：秋吉台サファリパーク、錦帯橋          |
| 9月 25日    | カフェ外出：吉田ゆめタウン                |
| 10月 2日    | カフェ外出：三次公園                   |
| 10月17・18日 | 宿泊旅行：石見銀山、邑智周辺、仁摩サンドミュージアム   |
| 10月 24日   | ランチ外出：ジョイフル、尾関山              |
| 11月 13日   | カフェ外出：尾関山                    |
| 12月 4日    | カフェ外出：パン工房ラパン、風土記の丘          |
| 12月 11日   | ランチ外出：三次運動公園、マクドナルド          |
| 1月 15日    | カフェ外出：サングリーン                 |
| 1月 29日    | カフェ外出：作木図書館                  |
| 2月 19日    | カフェ外出：三良坂パン工房麦麦、灰塚湖畔の森       |
| 2月 26日    | カフェ外出：吉田ゆめタウン                |
| 3月 12日    | カフェ外出：三次公園、モスバーガー            |
| 3月 19日    | カフェ外出：尾関山                    |

### ③経過、課題

- ・利用者の方は、外出をととても楽しんでいた。
- ・今年度より始めたスケッチ外出だったが、利用者の新たな一面を発見する事ができ、有意義な時間を過ごせた。
- ・利用者の好みや興味にあわせた外出を計画できた。より楽しい経験が積めるような外出を工夫して計画していきたい。
- ・食べる事が中心の外出が多いので、体験できることや見学についても取り組んでみたい。

### 5) 親子レクリエーション

平成24年10月8日（月）17家族29名参加

#### ①目的

- ・利用者、ご家族、職員の親睦を深め、楽しい時間を一緒に過ごす。

#### ②場所

- ・君田折り紙博物館

#### ③内容

- ・学園で集合後、家族の方は貸し切りバスで、利用者さんは学園の車輛で目的地に移動。家族の方（男性親族）と職員による屋外での焼きそば作りを行った。利用者、その他の家族、職員は、体育館でボール運動を行ったり、のんびりとくつろいでもらった。  
午後は、ご家族と一緒に折り紙体験を行う。色紙に家族写真をはり、折り紙で花を折り貼った。家族、利用者、職員が一緒に過ごし、情報交換を行う事で、有意義な時間となった。

#### ④経過・課題

- ・利用者、ご家族、職員と一緒に楽しい時間を過ごす事が出来た。ご家族の方と一緒に焼きそば作りや、ボール運動、折り紙体験を行い、ゆっくりと話す時間もあり、しっかりと交流が出来た。
- ・天気も良く、時間的にもゆっくりと過ごせた。
- ・昨年と同じ折り紙博物館だったので、安心して準備や進行がでた。
- ・折り紙の飾りと家族の写真を貼った色紙は、とても喜ばれていた。
- ・利用者も家族の方も年齢が高くなっており、行き先や内容なども無理の無いようなゆったりとしたレクを考えて行かないといけないと感じた。

### 4 グループ会議

#### ①目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務部長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

#### ②内容

- 4月 運営会議からの補足事項 行事について クラブ活動について 布団乾燥について 掃除（トイレ、居室）について 創造活動 個別活動
- 5月 運営会議からの補足事項 行事について 薬のチェック表や排便確認表の徹底 個別活動 外泊中の勤務について 福祉の森について 会議日について ケースカンファレンス（5名）
- 6月 運営会議からの補足事項 行事について 口腔ケアのモニタリングシート クラブ活動 うがい、手洗いについて 環境係より 日勤者の休憩について トイレ掃除について ケースカンファレンス（1名）
- 7月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について サイボウズの閲覧について 制服を正しく着こなす ともえ通信を利用者にも見てもらう クラブ活動 リビングに大型テレビ導入について 口腔ケア 居室掃除について 食事支援 個別活動（プール、音楽） 日誌 食器の下膳について 午後からの洗濯について 親子レクについて 看護課長より ケースカンファレンス（3名）
- 8月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 体育祭について クラブ活動 口腔ケア 午睡用の毛布 創造活動 個別活動 福祉の森のケース記録について 食事下膳について 食事準備について 事業モニタリングについて

ケースカンファレンス（2名）

- 9月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 外泊連絡票について  
親子レクについて クラブ活動 うがいの準備について 大型テレビ設置について  
創造活動 食事について 学園周りを散歩する時 早出の昼休憩、個別活動  
遅出の10分休憩について ケースカンファレンス（8名）
- 10月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動について  
食堂の席変更 朝食時のコップ 口腔ケアの記録について リビングのテレビ  
創造活動 人権委員より ケースカンファレンス（4名）
- 11月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 午前日課の利用者の編成  
ふとん乾燥機の使用、クリーンボーイの使用について 創造活動 個別活動  
リビングの土足厳禁について 衣類その他について ケースカンファレンス（2名）
- 12月 運営会議、処遇会議からの補足事項 三が日のお餅提供について 出張報告  
リビングのワックス掛け 手洗いについて 服薬マニュアルについて クラブ活動  
日勤職員の昼休憩 感染症予防対策の掃除 ケースカンファレンス（4名）
- 1月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 手洗いについて  
コードレスホン 個室対応の食器 リビングのワックス掛け 感染症の掃除について  
口腔ケアの記録について 福祉の森記録について 入浴支援について  
衣類整理について ケースカンファレンス（1名）
- 2月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 出張報告 クラブ活動 記録  
創造活動 個別活動 早出を1人増やすことについて 間接業務について  
排便確認、誘導について 個別支援課題計画について 床用雑巾について  
様子連絡票について ケースカンファレンス（4名）
- 3月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 年間行事について  
クラブ活動 排便誘導について 創造活動 早出B・間接業務について  
ケースカンファレンス（2名）

### ③経過、課題

- ・ ケースカンファレンスは、その時々の利用者の状態により、支援方法や取り組みの意見交換を行い、支援方法の統一を計った。緊急を要する事は、サイボウズで意見を収集し対応を行った。
- ・ 毎月の会議で協議できなかった事項や、協議事項が発生した際には迅速にサイボウズで意見を収集し対応策を考え対応した。
- ・ 会議で決まった改たな取り組みや業務について、会議に参加出来なかった職員へは、会議録作成前にサイボウズで周知をし、共通理解を持った。
- ・ 会議時間が短く、協議が出来ないことがあった。
- ・ 事前に会議議題用紙を作成し、係やケース担当者より議題を集めたが、積極的な提案はなかった。会議では、それぞれが活発に意見交換をして、対応策を考える事はできた。

## 5 まとめ

- ・ 一年を通じてクラブ活動や散歩、行事に元気に参加してもらうことが出来た。食事や入浴場面などでは、個別の対応やゆっくり時間を使って頂けるように、早めの誘導や時間設定を行った。
- ・ 一日三回トイレ掃除を行うことで、生活棟内の臭い対策もできた。感染症予防の意識も高まり、

清潔で快適な環境づくりに取り組んだ。そのためか、今年度は、ノロウイルス感染症やインフルエンザに罹患する利用者がいなかった。

- ・修繕箇所の整備や改善も行った。リビングに大型テレビと収納庫を作りつけてもらった。DVDやカラオケもセットして、何時でも楽しめる様に整備した。収納棚には、新聞や本、ブロックやゲームなども入れ、何時でも取り出せるようにした。
- ・リビングは、土足禁止とし、衛生的に利用者がくつろげる空間作りを目指せた。
- ・健康面では看護と連携を取り、異常の早期発見、対応に努めた。
- ・7月末に、30年弱利用されていた利用者が、施設をかわられ、トライアングルより1名移動されてきた。
- ・月～金に個別活動を取り入れ、利用者と一対一や二対二で活動できる時間の設定をおこない、関わりを深めることができた。
- ・3月より早出Bを1人増やし、朝食支援を充実させた。また、朝食後、全員の排便誘導が可能となった。早出Bは9時から間接業務専門とし、掃除やパジャマの準備等を行う事とした。早出B以外の職員は、利用者に関わる時間が増え、手洗いや排泄誘導、個別活動などに多くの時間を費やす事が出来るようになった。
- ・来年度も、利用者の視点に立ち、安心して快適に過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法や支援方法を模索し、楽しみのある生活がおくれるように考えて行きたい。また、一人ひとりに視点を当て、ゆっくりと関わる事が出来るような個別活動の時間を更に充実させていきたい。

(久保宏子、福永真也、渡邊 武、若床まゆみ、竹間和輝、掛川陽介、中岡健太郎、林 宏典、圓藤久明、今田弘之、上川清美、中野基行)

## 4 はなまるグループ

### 1 グループ目標

- ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
- ・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

### 2 生活

#### 1) 環境

##### ①目 標

- ・快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

##### ②内 容

- ・居室以外の窓の掃除は窓掃除表（掃除場所一覧表）を作成し日勤が申し送り後窓ふきを行った。
- ・冬場は換気も含め5分程度窓を開け空気の入換えを行った。
- ・定例外泊時には掃除場所を決め普段行き届かない所の掃除を行った。
- ・リビングの床にワックスを塗布した。
- ・フィルター、排煙窓の網戸の清掃を行った。
- ・センターは午後のクラブ活動内で分担して清掃を行った。
- ・冬場は感染予防の為、午前、午後と床拭きを行い、ドアノブもジェスパで拭いた。

##### ③まとめ

- ・ 建具の損傷については確認した上、営繕係に対応してもらった。
- ・ 中庭はなかなか掃除ができないので道具等整理し綺麗に保持していきたい。
- ・ 洗面所やトイレのクリーンドライの清掃保持をしていきたい。

## 2) 衛生

### ①目 的

- ・ 感染予防と対応
- ・ 健康維持

### ②内 容

- ・ 入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を看護のチェック表に基づき確実に行った。
- ・ 個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実施できる体制作りに努めた。
- ・ 手洗いの講習を行い、手洗いの正しいやり方について利用者さんにも学習する機会を設けた。
- ・ 午前、午後の活動後や食事前の手洗いうがいの実施、手指消毒を徹底した。
- ・ 毎月 1 回体組成測定を行い、健康管理に努めた。
- ・ 歯磨き支援として毎月 2 回、日曜に 2 4 名全員行い、口腔内のチェックを実施した。チェック表を看護と相談し分かりやすいものに変更した。
- ・ 毎週土曜日に爪切り、日曜日に血圧測定を実施した。
- ・ 体力測定を行い、利用者さん一人一人の運動能力の把握に努めた。
- ・ 毎食後の歯磨き終了後、全員の歯ブラシをピューラックス液に浸け、消毒を行った。
- ・ 毎食後の歯磨きを歯磨き粉をつけて行うように変更した。
- ・ 集いの前に 5 分間窓を開け、換気をするようにした。
- ・ ピューラックスを薄めた液での廊下や居室の拭き掃除や、ドアノブやスイッチなどよく触れる場所をジェスパで拭くことを一日二回行い、感染予防を徹底した。
- ・ 手洗い時、シャボネットを二つにし、手洗いの効率化を図った。

### ③まとめ

- ・ 入浴後の軟膏塗布は定着していた。チェック表を使用し確実に行った。
- ・ 体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい方に対しては日頃の様子観察から把握する。
- ・ 手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、体調を崩すケースは少なかった。
- ・ 毎週土曜日の爪切り、日曜日の血圧測定は衛生と健康状態の把握の 1 つになった。
- ・ 歯磨き支援で、虫歯の発見や予防、口内炎の発見、歯肉の状態の改善に努めた。
- ・ 食事や睡眠時間に注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活で過ごして頂けるように努めたい。

## 3 グループ日課

### ①目的

- ・ 日課の流れを組み立て、利用者の皆さんが適度に身体を動かし、健康に生活できるようにする。
- ・ クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

### ②内容

- ・ 運動の時間を設けて球技大会・体育祭に向けて練習や、握力や 30 メートル走などの体力測

定を行う。

- ・雨天時や寒い時期以外は、園外へ往復3Km程度の距離のウォーキングを実施し、暑い時期は粉末のスポーツドリンクを出発前に作り、途中で水分補給を行う。
- ・降雪や雨天時の運動は、療育センター内のウォーキングやトレーニングルームで様々な運動器具を使用し、体力低下の防止に努めた。
- ・2月からは午後の活動内容をさらに細分化した。農機具などの掃除、リサイクル棟の掃除、古新聞の整理を試行し、来年度につながる取り組みを行った。

### ③まとめ

- ・今年度は午後の活動についても予定表を作り、当日の勤務者に解りやすいよう取り組んだ。
- ・君田分かれまでのウォーキングは利用者にとっても定着しつつあり、気分転換にもなっているので今後も継続する。
- ・テレビ番組の予約録画も継続して鑑賞してもらう。
- ・体力測定は事前の準備が大変な面もあり、職員数の確保が必要となる。また、測定項目は多くはないが利用者さんが理解して行う事が出来るよう説明や回数を重ねる必要がある。
- ・運動器具についても降雪時や雨天時に限定しての使用なので、十分に活用できているとはいえない。これらの課題はあるが、様々な取り組みをしていく中で、集団で活動できない、複雑な作業ができない利用者が明らかになってきた。これらの利用者に適切な活動を提供することが来年度の重要な課題となる。

## 4 行事

### 1) レクリエーション

#### ①目標

- ・季節に応じたレクリエーションを提供する事によって楽しんで頂き、安定した生活を送る。
- ・日常の生活から離れて気分転換を図って頂く。

#### ②内容

| 月  | 日  | 行事名      | 場所                         |
|----|----|----------|----------------------------|
| 4  | 14 | 花見会      | 園芸ハウス横広場で弁当を食べ、君田折り紙博物館へ行く |
| 5  | 12 | バスドライブ   | 鮎の里公園へバスドライブに行く            |
| 6  | 16 | ビデオ鑑賞会   | センタープレイルームでバラエティーのDVDを観る   |
| 7  | 3  | バスドライブ   | 高谷山へバスドライブに行く              |
| 8  | 2  | 納涼祭      | 多目的棟で射的やスイカ割り、花火などを行う      |
| 8  | 15 | バスドライブ   | 常清滝へバスドライブに行く              |
| 9  | 8  | バスドライブ   | グリーンサーキット高野でグランドゴルフを行う     |
| 10 | 8  | 親子レク     | 君田折り紙博物館で焼きそば作り、折り紙体験を行う   |
| 11 | 3  | 藤兼祭り     | 藤兼地区の祭に参加する                |
| 11 | 9  | バスドライブ   | 庄原備北丘陵公園へバスドライブに行く         |
| 12 | 13 | 忘年会      | プレイルームで焼き鳥、うどんを提供。表彰式を行う   |
| 1  | 10 | 新年会      | プレイルームでDVD鑑賞、手作りハンバーガーを提供  |
| 2  | 9  | レクリエーション | プレイルームで風船バレーなどレクを行いスープを提供  |
| 3  | 7  | お楽しみ会    | プレイルームでDVD鑑賞、ゲームを行う        |

### ③まとめ

- ・バスドライブでは庄原の丘陵公園での散策、高野でのグランドゴルフなどは楽しそうに参加されていた。
- ・レクリエーションではゲームなどを取り入れることで仲間意識を深めることもでき、また楽しくゲームに参加出来ていた。
- ・親子レクでは17家族24名の参加があり、君田の折り紙博物館で家族で焼きそば作り、折り紙で干支の飾りを作った。

## 2) ビデオレンタル

### ①目的

- ・希望するビデオを借り、観賞する事によって安定した生活を送る。
- ・外出する事で気分転換を図り、生活に潤いを与える。

### ②内容

- ・毎月1名の利用者さんに代表してビデオレンタルに行ってもらった。
- ・ビデオ鑑賞会では大型のスクリーンへ映しだし鑑賞してもらった。

### ③まとめ

- ・リビングの大画面テレビで借りたビデオを鑑賞し、個人の居室でも鑑賞した。
- ・同じビデオを借りる事も多く、好みのビデオは一通り借りられた様子。

## 3) 宿泊旅行

### ①目的

- ・希望を元に日常では味わえない環境を体験する事によって、リフレッシュして日々の生活の意欲に繋げ、社会性を身につける。

### ②内 容

| 月 日       | 参加人数 | 場 所                 |
|-----------|------|---------------------|
| 5月23日～24日 | 7名   | 山陰方面7名（キララ多岐コテージ宿泊） |
| 6月13日～14日 | 7名   | 山陰方面7名（キララ多岐コテージ宿泊） |
| 7月11日～12日 | 7名   | 山陰方面7名（キララ多岐コテージ宿泊） |

### ③まとめ

- ・今年度は集団での行動、社会性を確認する為同じ場所を設定し夕食は自炊することでお互いが協力し合い生活をする事の大切さを学ぶことが出来た。アスレチックなど利用し普段では見られない運動能力も確認でき今後支援計画に活かせる体験が出来た。体調不良者2名は参加出来なかったが次回は参加出来る環境を設定したい。

## 4) 外出（半日外出／日帰り旅行）

### ①目 的

- ・希望に添った外出を行い、安定した生活を送る。
- ・半日では行けない場所や出来ない事などを体験し、色々な経験の場を提供する。

### ②内 容 （半日外出）

| 実 施 日 | 参加人数 | 場 所      |
|-------|------|----------|
| 4月20日 | 3名   | 吉田ゆめタウン  |
| 5月11日 | 3名   | 庄原THEビッグ |

|        |    |                    |
|--------|----|--------------------|
| 6月22日  | 3名 | 神楽門前湯治村、道の駅        |
| 7月27日  | 3名 | サングリーン             |
| 8月 3日  | 3名 | 世羅高原農場             |
| 8月24日  | 3名 | サングリーン、ダイソー        |
| 9月14日  | 3名 | フレスタ、ユーホー          |
| 10月26日 | 3名 | サングリーン、ダイソー        |
| 11月 4日 | 5名 | 河内ふれあい祭り           |
| 11月 9日 | 2名 | サングリーン、ダイソー、三次公園   |
| 11月16日 | 2名 | 甲田町サンパテオ、湧永庭園      |
| 12月 7日 | 3名 | バッティングセンター         |
| 12月14日 | 3名 | サングリーン             |
| 12月21日 | 2名 | 図書館、プラザ            |
| 1月18日  | 2名 | フタバ図書、ジョイフル        |
| 2月15日  | 3名 | 道の駅（作木、布野）         |
| 3月15日  | 2名 | 伍楽荘ボウル、ゆめさくら、かんぼの郷 |

（日帰り旅行）

| 実 施 日  | 参加人数 | 場 所              |
|--------|------|------------------|
| 5月 4日  | 3名   | たかみや湯の森、島根県 香木の森 |
| 6月27日  | 2名   | 中央森林公園、三景園       |
| 7月19日  | 3名   | 宮島、みやじマリン        |
| 9月19日  | 3名   | ヒルゼン高原センター       |
| 9月27日  | 3名   | 出雲くら寿司、湯村温泉      |
| 10月11日 | 3名   | 交通科学館、安佐動物公園     |
| 10月17日 | 2名   | 東広島市             |
| 11月21日 | 3名   | 帝釈峡、サングリーン       |
| 1月12日  | 2名   | 広島グリーンアリーナ       |

### ③まとめ

- ・皆さん楽しみにされてる時間でもあり落ちついて外出することが出来た。
- ・外出の回数は全員ほぼ同じ回数にすることが出来た。
- ・買い物がしたい利用者や買い物をしない利用者のように、目的の違う利用者を同じ外出に組んでいた為、希望に沿った外出が出来なかった利用者もいたように思われる。
- ・今年度から日帰り旅行を外出に増やしたが、宿泊旅行でもない、半日でもない外出で、少し遠出が出来た事もあり皆さん楽しんでおられた。
- ・今後は同じ目的の利用者同士で外出出来るよう計画を立て、利用者の希望に沿った外出を計画していきたい。

## 5) 創造活動

### ①目的

- ・ものづくりを行うことで日常生活では得られない喜びを味わい、日々の生活の安定を図る。

### ②内 容

| 実施日    | 内容          |
|--------|-------------|
| 6月 9日  | 父の日感謝祭の看板作り |
| 7月15日  | ゲーム用の魚作り    |
| 8月26日  | ロケット作り      |
| 9月 9日  | 応援の旗作り      |
| 10月28日 | ひょうたん色塗り    |
| 11月24日 | どんぐり人形作り    |
| 12月 8日 | 年賀状作り       |
| 1月26日  | 鬼の面作り       |
| 2月11日  | キャンドル作り     |
| 3月20日  | スクラッチでハガキ作成 |

### ③まとめ

- ・月に1回のペースで行い、各回起案職員の持ち味を出すことができたが、道具類の準備不足、段取りの悪さ、また打ち合わせ不足なども目立った。
- ・絵画制作や工作だけでなく、好きな臭いや、好きな形なども探ることが出来た。
- ・年賀状作りでは、家族に宛てて書いているのだということをほとんどの方が理解できており、普段は創造活動への参加に興味を示さない利用者さんも積極的に取り組むなど意外な一面を見ることができた。

## 5 グループ会議

### ①目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動について課題を提起検討する。
- ・ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各部署との意見交換、情報交換、協議。

### ②内容

- 4月…日課について、クラブ活動について、ケースカンファレンス
- 5月…入浴時間について、宿泊旅行について、クラブ活動について
- 6月…出張報告について、各係から、室内マシーンについて
- 7月…午後の活動について、歯磨き支援について、食事支援について
- 8月…出張報告について、食事の下膳について、日課について
- 9月…人権について、体育祭、親子レクについて、食事の見守りについて
- 10月…食事の下膳について、人権について、ケースカンファレンス、雨天時の運動について
- 11月…出張報告、ケースカンファレンス、事例研修について、記録について
- 12月…前遅勤務について、ケースカンファレンス、個別課題支援計画について
- 1月…出張報告、入浴支援について、実習受け入れについて、ケースカンファレンス
- 2月…ケースカンファレンス、手洗い、感染予防の床拭きについて
- 3月…出張報告、ケースカンファレンス

### ③経過・課題

- ・今年度は今まで行っていなかった10月にも会議を入れ毎月話し合いの場を設けることができ

た。しかし、会議での時間も限られており結論が出ず、サイボウズでの意見集約も多くなったが、決まった人しか意見が出なかった。

- ・限られた時間を有効に使える会議の進行が課題となる。また、議題の提案が遅くなった事も原因と考えられるので、早く議題を出しそれぞれが考えをまとめて参加できるよう働き掛けていく。
- ・利用者のより良い生活が送られるようにという職員の思いは皆同じなので、今後も活発な意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

## 7 まとめ

・今年度は新しい職員は入ったが、それ以外の職員の異動が全くなく利用者さんも不安の少ないスタートだったと思う。園外でのウォーキング（君田分かれまで）も定着し体力作りも目指した。また、使用頻度は少なかったが、運動マシーンも導入され室内での運動の幅が広がった。毎月の創造活動も楽しみの一つになっている利用者さんもいる。また、普段気が付かなかった発見などでもできる機会となっている。宿泊旅行では今年度は普段見ることが出来ない調理を通して利用者さんのできる事を探っていった。また日帰り旅行での昼食場面から何が好きなのか嗜好も探っていく事ができた。今後も行事や外出など楽しみを持って生活してもらう事も継続しながら日課等の見直しも行い高年齢化に伴う体力の低下や運動機能低下の予防に努め自分でできる事が一つでも増えていくような支援を行っていきたい。

（藤田由香里、岩戸洋三、荒瀬好司、魚見敏満、濱本 豊、  
穂登原亮介、竹林祐樹、藤井秀樹、高森 強）

## 5 医療

### 1 運営方針

#### 1) 利用者の視点に立った医療・看護の提供

##### ①安全な医療・看護の提供

- 1) 安全行動を確実にする。
- 2) 感染予防行動を確実に実践する。
- 3) 健康管理の徹底をはかる。

##### ②チーム医療、看護の確立

- 1) 利用者家族、ともえ会の事業所、地域との連携をはかる。
- 2) 他職種、他部門の協働と連携をはかる。

##### ③利用者本位の医療・看護の提供

- 1) 生活の充実とケア時間を増加する。
- 2) 家族と健康に関する相談等を充実する。
- 3) 利用者、家族参加の看護計画を充実する。

##### ④専門職業人としての責務の遂行

- 1) 看護倫理に基づく実践・評価をする。
- 2) 自己研鑽をし資質の向上につとめる。
- 3) 新規採用者の育成につとめる。

#### 2) その他

- ①短期入所者の地域との連携と健康管理。
- ②在庫物品の適正量と数の管理。
- ③電子カルテの開発と運用。
- ④看護組織の充実。

## 2 利用者、職員の定期健診・生活習慣病予防健診、特定業務従事者の健康診断

利用者 70名 職員 46名（35歳未満 14名 35歳以上 32名）

### ①平成25年4月～7月まで（箕岡内科）

利用者 70名 胸部レントゲン直接撮影

職員 14名 胸部レントゲン直接撮影（35歳未満）

血液検査 視力検査 聴力検査 尿検査 身長 体重 BMI

### ②平成25年6月～平成25年3月まで（箕岡内科）

利用者 生活習慣病の対象者の血液検査 3か月毎（年2回の子鹿分も含む）

### ③平成24年4月～平成25年3月まで（各自希望健診施設で予約調整；事務局）

職員 31名 生活習慣病予防健診

### ④平成24年4月～6月までの間（ともえ学園医務室）

利用者 70名 便潜血 便微生物検査 尿検査 視力、聴力検査 体重 身長 BMI

職員 14名 便潜血（35歳以上は除く）

39名 便微生物検査（栄養課を除く）

### ⑤平成24年4月～平成25年3月まで特定業務従事者の健康診断

職員 33名

### ⑥平成24年4月～平成25年3月までの間（子鹿医療療育センター検査室）

利用者 70名 血液検査 半年に1回

### ⑦平成24年9月～平成25年3月までの間（子鹿医療療育センター検査室から来園）

利用者 70名 心電図検査 1か月10名ずつ

### ⑧口腔健診（子鹿医療療育センター歯科）

利用者 70名 6月1日、15日 他新規入所者は随時入所時直近に実施。

### ⑨感染症対策

- ・4月～肝疾患対策事業の継続 B型肝炎ワクチン接種

利用者31名 職員39名 実施 平成23年7月～検査、接種、後の検査

- ・10月～インフルエンザワクチン接種 利用者70名 職員 希望者43名

- ・迅速キットで以下の感染症罹患の有無を検査をして、感染の拡大を阻止する。

クイックナビーノロ2（ノロウイルス抗原キット）

インフルエンザウイルスキット（インフルエンザA、Bウイルス抗原検出）を箕岡内科の指示で実施、感染はなし。

- ・感染制御部門としての役割を果たした。

今年度は大きな感染症の拡大は全くなかった。

感染症対策の徹底を図り、周知させた。

## 3 受診

三次市内の病院、診療所での定期・臨時・緊急受診、他広島市

- ①緊急的に治療を必要とする利用者の受診を優先した。
- ②疾病予防の観点から早期受診、早期治療、早期回復を目指した。
- ③内科、外科、精神科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科など特に高齢、重度化と生活習慣病対策を念頭に実施した。

④嘱託医

脳神経内科 子鹿医療療育センター 吉長成恭医師（週1回）

内科 医療法人 源仁会 箕岡内科医院 箕岡康明医師（2週間1回水曜日）

平成24年6月13日初回 3月27日年度末最終で計29回

将来的にも施設に於ける終末期医療が可能となる基盤ができた。

⑤歯科 子鹿医療療育センター歯科 安井良一医師（毎週火曜日10時～12時）

5名ずつ口腔健診と日々の口腔ケアに基づく情報管理から計画的に受診をした結果、齲蝕（むし歯）の治療は終了した。

平成22年7月から23年ともに口腔健診を年2回、今回は1回、2年半かかったが予防的な事業に入ることができた。

歯垢・歯石除去、義歯などの作製、全般的な口腔の健康について細部に亘るケアを可能とした。

#### 4 保健・医療・看護・福祉サービスに関する連携、継続ケア

- 1) 患者の権利（リスボン宣言）の認識と擁護と責任 延命医療、リビングウィルについて考え、実践する予定であることを提案した。

- ①良質の医療を受ける権利    ②選択の自由    ③自己決定権
- ④意識喪失者患者の代理人の権利    ⑤法的無能力者の代理人の権利
- ⑥患者の意思に反する処置    ⑦情報に関する権利    ⑧守秘義務に関する権利
- ⑨健康教育を受ける権利    ⑩尊厳性への権利    ⑪宗教的支援を受ける権利

今と今後の人生への希望、思いと 終末期医療に関する考えについての利用者の親等からの意見をもらうこと。

- 2) 利用者の個人ファイルの整理が必須作業であるから以下を実施途中である。

- ①既往歴・現病歴・生育歴・生活歴・入院歴・経過記録など基本情報とその他。
- ②健康管理票の更新 中間サマリー 紹介先への提出情報の作成と更新。

利用者家族への 年1回以上の提出。

- 3) エビデンスに基づく精神科看護ケアの実践ができるようにつとめた。

- ①精神の健康・不健康の連続性のどの時期にある対象にも看護を提供する。
- ②セルフケア能力を判断して必要なケアを計画する。
- ③コミュニケーション技術を駆使して相談にのる。
- ④人権を守る役割をする。
- ⑤利用者と家族の教育者としての役割を担う。
- ⑥医療チームの調整者としての役割を担う。
- ⑦病院、地域との連携と継続ケアの担い手として利用者のケアを連続的に整えた。

個別性、事例性、標準的な考え方で精神科にかかわる症状・疾患について誘因・原因からメカニズム、看護ケアまでを図式化した関連図ガイドを活用した。

- 4) エビデンスに基づく精神科医療、治療に伴う看護の実践。キーワードからできうる限りの実践が可能となるようにつとめた。

①DSM-IV-TR(DSM-V) ICD-10診断基準など評価と検査。

②薬物療法 症状から専門的受診を予約し症状改善を図った。

③応用行動分析(ABA) TEACCH 補完代替療法、行動療法、ソーシャルスキル療法、言語、治療などの実践ができる環境設定を図ることを提案する。

5) 具体的な看護介入の実施をして、日常生活(人生、命)の質の向上を図り改善をした。

①バイタルサインのチェック 症状チェック 経過観察。

②受診判断と受診 治療、処置の実施、周知。

③与薬管理、医薬品管理、医療機器管理の実施。

④個別リハビリテーション 運動、言語、術前・術後の対策、脳活性化プログラム  
多飲水の教育指導プログラムと実施。

⑤フットケア スキンケアの実施と評価の結果今後の対策の実施。

⑥口腔の健康 口腔ケア 歯科受診 周知と実践についての共有と実施。

⑦運動器の機能向上の実施 マシン等の活用についての提案。

⑧栄養改善に関する医療上の栄養評価のデータの共有。

⑨閉じこもり予防、知症予防、うつ予防対策。

⑩難病対策 平成25年4月1日障害者の範囲に加えられるが、現在既に対象者がおり総合的に支援をしている。

⑪肝疾患対策 上記項目のB型肝炎対策から将来的に肝臓死亡率の低減を図るため方策をとる。  
ひろしま肝疾患コーディネーターの定期的な研修を受けた。

⑫癌予防対策 検査等が普通に困難な状況の利用者に対する検査のありよう。

⑮の生活習慣病予防対策の徹底をはかるため受検後のフォローをした。

⑬感染症予防 日常清掃、特別清掃、除菌、消臭などの環境衛生、手段と方法を共有し、大きな感染症の拡大はなかった。

⑭自閉症、精神遅滞、統合失調症、強度行動障害の必要な医療情報により専門的医療が必要な利用者のリストアップから医療領域での解決をはかるよう準備をした。

⑮利用者の生活習慣病予防対策は職員と同じ検査項目は難しいが、より近いものを医師に相談をしてとった。

⑯排泄リハビリテーションの必要性は排泄傷害「適切な排泄行為をしない(意識する、しないにかかわらず)」利用者が多いため、リストアップをして対策準備をした。

⑰以上の必要項目のガイドラインの作成をして後に使えるものとするため準備をした。

## 5 サービス担当者会議

自閉症、知的障害、精神疾患等を持つ利用者の医療・看護・支援体制からサービス担当者会議を通して利用者中心の質の高いサービスを提供するためのケアマネジメントの大切さを周知させ利用者を理解するためのアセスメントを作成した。8領域に分けて評価表に記載し、レーダーチャートで実態を把握でき、計画に生かせるものとした。

1) 日常生活(ADL)①食事 ②排泄 ③着脱衣 ④洗面 ⑤入浴 ⑥睡眠 ⑦移動

⑧身だしなみ(整容) ⑨整理・整頓

2) 健康・安全 ①病気やけがへの対応 ②危険に対する理解

3) 社会性(人との関わり) ①情緒 ②意欲 ③人間関係 ④社会規範 ⑤集団参加

4) 社会生活技能 ①家事全般 ①-1炊事 ①-2洗濯 ①-3掃除 ②生活機器 ③地理感覚

- ④時間の理解 ⑤金銭の使用 ⑥交通機関
- 5) コミュニケーション ①伝える・話す ②理解する・聞く ③挨拶・返事 ④読む・書く
- 6) 日中活動 ①作業・仕事 ②役割 ③余暇
- 7) 社会参加 ①社会参加
- 8) 行動障害 ①障害程度区分・認定調査項目から ② 強度行動障害

(坂本宏子・田村裕子)

## 6 栄養食生活

### 1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

### 2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、常食の目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

|                 | 目標量      | 実質摂取量    |
|-----------------|----------|----------|
| エネルギー (k c a l) | 2, 2 0 0 | 2, 2 2 8 |
| たんぱく質 (g)       | 7 3. 0   | 7 7. 4   |
| 脂質 (g)          | 5 5. 0   | 5 7. 6   |
| カルシウム (m g)     | 6 0 0    | 6 3 9    |
| 鉄 (m g)         | 7. 5     | 1 0. 9   |
| ビタミンA (I U)     | 2, 5 0 0 | 2, 4 3 3 |
| ビタミンB 1 (m g)   | 1. 1 1   | 3. 2 4   |
| ビタミンB 2 (m g)   | 1. 2 3   | 1. 3 2   |
| ビタミンC (m g)     | 1 0 0    | 1 5 4    |

### 3 栄養ケアマネジメントの実施

障害(児)者が自立して快適な日常生活を営み、尊厳ある自己実現をめざすためには、障害(児)者一人ひとりの栄養健康状態の維持や食生活の質の向上を図ることが不可欠であることから、個別の栄養健康状態に着目した栄養ケアマネジメントを実施している。

### 4 療養食

糖尿病食・肝臓病食・胃潰瘍食・脂質異常症食・痛風食・腎臓病食・貧血食を利用者の病状に応じて提供した。

### 5 食事形態

常食・ひと口刻み食・刻み食・ペースト食を利用者に応じて提供した。

### 6 希望メニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日に利用者の希望のメニューを月別にはつぎのように提供した。

- 4月：「サラダ巻き寿司」「和風おろしハンバーグ」「親子丼」「焼き鶏」「ハンバーガー」  
「かつカレー」
- 5月：「ラーメン」「かつカレー」

- 6月：「散らし寿司」「ラーメン」「鶏空揚げ」「かつカレー」「ハンバーグカレー」
- 7月：「かつカレー」「肉うどん」「チャンポン」「うどん」「とんかつ」「味噌ラーメン」
- 8月：「ナポリタンスパゲティ」「チャーシュー麺」「豚骨ラーメン」「ハンバーグ」「とんかつ」「牛丼」「担々麺」「ちゃんぽん麺」「ぶっかけうどん」
- 9月：「肉うどん」「チキン竜田バーガー」「かつカレー」「グラタン」「ハンバーグカレー」
- 10月：「煮込みハンバーグ」「牛丼」「クリームシチュー」
- 11月：「刺身盛り合わせ」「ハンバーグ」「ビビンバ」「ラーメン」「牛丼」「親子丼」「とんかつ」「鶏空揚げ」「かつカレー」「かにグラタン」
- 12月：「牛丼」「海鮮丼」「かつ丼」「冬野菜たっぷりカレー」
- 1月：「牛丼」「海鮮丼」「味噌チャーシュー麺」「ラーメン」「焼き肉丼」
- 2月：「かつカレー」「チキンかつ」「ハンバーグ」「ラーメン」「カレーライス」「かつ丼」「豚肉生姜焼き」
- 3月：「肉うどん」「醤油チャーシュー麺」

## 7 間食

間食は、全グループ統一して午後に提供した。

月1回の月例会には、手作り間食を提供した。

- 4月：「紅茶ムース」
- 5月：「フルーツサンドイッチ」
- 6月：「カレー中華まん」
- 7月：「ともえ学園の枝豆を使ったずんだ餅とビールゼリー」
- 8月：「ともえ学園のミント添えのプリン」
- 9月：「ともえ学園の南瓜を使った南瓜餡入りクレープ」
- 10月：「ともえ学園のさつま芋のスイートポテト」
- 11月：「人参蒸しパン」
- 12月：「餅つきをしたお餅を入れたぜんざい」
- 1月：「ともえ学園の苺添え人参ゼリー」
- 2月：「中華あんまん」
- 3月：「エスプレッソクレームブリュレ（コーヒープリン）」

## 8 正月料理

毎年三が日は朝食の雑煮、そしてお節料理を提供し、今年度も実施した。

今年度も「鍋料理」を提供し、鍋を囲みながら普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。

（後田喜代子・岡下チエミ・山縣圭子・藤 美雪・田原恵里・松本和幸・山下英明）

## 7 事務

### 1 目標

- ①外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な応対に心がける。
- ②電話受付では明確な応対に心がけ、速やかに関係部署に報告する。  
緊急な事柄は速やかに口頭あるいは電話で報告する。

サイボウズや、らくらく連絡網を利用して全員あるいは関連部署に配信する。

- ③事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を徹底する。特にメールの送受信が可能な組織にはインターネットを利用し、迅速な処理を行う。

## 2 内容

### ①事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所手続き、療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証・自立支援医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、行政機関との連絡調整、その他

### ②庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、パソコン・プリンター・コードレスホンの管理、その他

### ③経理

- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

## 3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規程、ともえ学園内規を基本として日々行ってきた。これからも原理原則を基本に、利用者、利用者家族、職員に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。

(高田孝康・加藤真由美)

## 8 園内行事

- ・ 一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として毎月学園内で計画実施した。
- ・ 学園周辺の環境整備を計画実施した。

### 1 花まつり

①日時 平成24年4月8日 日曜日 14時00分～15時30分

②場所 食堂

③内容 利用者69名 短期入所1名 係長：福永 係：菅原・竹林

花御堂の屋根に花を飾り付け、飾られた屋根は会場中央の花御堂に設置されました。設置後には順次、お焼香と誕生仏（お釈迦様）に甘茶をかけて合掌、甘茶をかけ終わった人から甘茶を頂いてお祝いをしました。

### 2 母の日感謝祭

①日時 平成24年5月13日 日曜日 14時20分～15時20分

②場所 食堂

③内容 利用者69名 短期入所1名 係長：岩戸 係：堂西・林

今年で5回目となった母の日感謝祭では、利用者の皆さんに、お母さんの絵を描いてもらい、数名の方に出来上がった絵を披露してもらいました。最後には「お母さんありがとう」と全員で大きな声を出し感謝しました。

### 3 草刈り（1回目）

①日時 平成24年6月11日 月曜日 7時00分～12時00分

②場所 学園下の法面・県道39号線・水路沿い山側・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員7名 係長：高田事務部長

6月6日（土）に必要物品の確認と準備を実施。当日は学園下駐車場法面の草刈りから開始、FOX周辺から水路に移動し草刈り草集め、水路の倒木、汚泥の撤去、神野瀬川水源井戸周辺の草刈りを実施。

#### 4 父の日感謝祭

①日時 平成24年6月17日 日曜日 14時00分～15時20分

②場所 食堂

③内容 利用者68名 短期入所者2名 係長：山地 係：圓藤・竹林

父の日の由来について説明後に、ご家族へのプレゼント用としてマニキュアを使用してのマーブリングという手法で、しおりを利用者さんに作成してもらいました。

#### 5 JTサンダーズ交流会

①日時 平成24年6月19日 火曜日 10時30分～11時20分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 全利用者対象 係長：穂登原 係：藤・若床

JTサンダーズ選手との交流は、記念写真撮影、マルモリ体操、選手によるプレーのデモンストレーション、選手と利用者混合メンバーによる風船バレー大会でした。

#### 6 七夕祭り

①日時 平成24年7月7日 土曜日 14時00分～15時00分

②場所 食堂

③内容 利用者70名 短期入所者1名 係長：渡邊 係：高場・前田

司会者より七夕の由来についての説明がされた後、短冊の作成、出来た方から短冊の飾り付けと紹介、七夕の歌合唱と行事は流れていきました。女性の利用者さんは浴衣姿で参加され七夕の雰囲気は盛り上がりました。

#### 7 物故者追悼式

①日時 平成24年8月8日 水曜日 10時30分～11時00分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者70名 係長：濱本 係：藤・今田

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、献花、献歌、閉会后、参列者全員に飲み物が配られました。献花した花は追悼式後ともえ会のお墓にお供えされました。

#### 8 大掃除・ワックス掛け

大掃除

①日時 平成24年8月11日 土曜日 9時30分～

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：菅原 係：渡邊・穂登原

学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序に沿って実施されました。係の3名と追加3名の職員が1時間の時差出勤で物品移動など作業に取り掛かる準備をした事もあり、スムーズに作業を行えました。今回から子鹿医療療育センターから頂いた自動洗浄機2台を追加使用。

#### 9 全体活動

①日時 平成24年8月11日 土曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センター

③内容 参加利用者41名、職員：山地、高場、若床、渡邊、荒瀬、濱本 6名

生活場所の大掃除の日、利用者さんは療育センターで過ごされました。午前はDVD鑑賞、午後からはカラオケを楽しみました。

#### 10 非常用保存食の作成訓練

①日時 平成24年9月3日 月曜日 9時50分～

②場所 厨房主調理室、食堂

③内容 作成者：藤、田原、松本、山下、記録（山縣） 摂食者：利用者・当日勤務の職員

非常用保存食（若布ご飯）の包装を外し、開封して用具を取りだし、具材を入れて湯を入れる準備。給湯器の湯を注入線まで入れ、口を閉じて蒸らしを開始、封を開けて、全体をほぐしてパック詰め。パック詰め、セットを完了し職員試食用を職員室へ移動した。利用者は通常の昼食準備をして提供、試食した。

#### 11 体育祭

①日時 平成24年9月22日 土曜日 10時30分～14時40分

②場所 グランド

③内容 参加利用者70名 53家族88名 職員35名 係長：竹間 係：見土・竹林

良い天候に恵まれ、午前・午後の全予定競技は参加者全員の協力で盛り上がり楽しむ事が出来ました。怪我や事故なども無く無事に体育祭は終了しました。

#### 12 収穫祭

①日時 平成24年10月3日 水曜日 14時00分～15時00分

②場所 外宮周辺

③内容 利用者70名 係長：穂登原 係：福永・藤

外宮前に、ともえ学園で収穫された芋、カボチャ、生姜等の野菜をお供えし、収穫への感謝と榊の奉納が行われました。利用者さんと職員による御神輿もありました。最後に参加者全員で御神酒の代わりとしてリンゴジュースを頂きました。

#### 13 草刈り（2回目）

①日時 平成24年10月15日 月曜日 7時00分～11時00分 草刈り

8時00分～12時00分 草集め

②場所 学園下の法面・県道39号線・水路沿い山側1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員7名 係長：高田事務部長

準備は10月12日（金）に必要な物品の確認と準備を実施。当日は学園下駐車場法面の草刈りから開始、水路を移動しながら草刈り草集めを行い、水路の草刈り終了後はFOX周辺の草刈り、最後に神野瀬川水源井戸周辺の草刈りを実施して終了でした。

#### 14 勤労感謝祭

①日時 平成24年11月23日 金曜日 14時00分～15時30分

②場所 食堂

③内容 利用者66名 短期入所者1名 係長：高場 係：圓藤・藤井

勤労感謝の日についての説明、各グループの催し物（はなまるグループ：創造活動で製作した作品の紹介 レインボーグループ：合唱 トライアングル：楽器演奏と合唱）、記念撮影がありました。

#### 15 クリスマス会

①日時 平成24年12月25日 火曜日 14時10分～15時30分

②場所 食堂

③内容 利用者70名 短期入所者1名 係長：中岡 係：山地・濱本

食堂に飾られた大きなツリーに点灯、各グループのクリスマス作品発表、係の職員がサンタさんとトナカイに扮して登場、サンタさんからのプレゼント渡し、クリスマスの歌を合唱、最後にシャンパンで乾杯しました。

## 16 餅つき

①日時 平成24年12月28日 金曜日 10時00分～11時00分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者68名 係長：荒瀬 係：藤・中岡

事前に餅米を水に浸し準備し、当日は係が時差出勤で餅つきの時間に合わせて、餅米を蒸したり会場準備を行いました。餅つきの希望者をつのり行いました。餅をつく度に大きなかけ声が出て景気の良い餅つきになりました。今年は餅もみも利用者さんに挑戦していただきました。お餅は12月の月例会や、1月のとんど用分も作られました。

## 17 大掃除、ワックス掛け

①日時 平成24年12月30日 日曜日 9時30分より

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：菅原 係：渡邊・穂登原

学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序に沿って実施されました。係の3名と追加3名の職員が1時間の時差出勤で物品移動など作業に取り掛かる準備をしました。学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序に沿って実施されました。当日は雨天で、乾くのに時間が掛かりました。

## 18 全体活動

①日時 平成24年12月30日 日曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者35名 短期入所者1名 職員6名

生活場所の大掃除の日、利用者さんは療育センターで過ごされました。午前はビデオ鑑賞、午後からは運動やカラオケ等をされました。

## 19 24年年間報告

①日時 平成24年12月31日 月曜日 係：高田事務部長

②内容 今年は、納会の代わりに各発表者（各部署部課長、親睦会会長）からの年末にあたってのメッセージを集約し、園長より総括とともに職員全員へサイボウズで周知されました。

## 20 鍋会食（外泊期間中の在園者を対象）

①日時 平成25年1月3日 木曜日 11時45分～12時40分

②場所 食堂

③内容 利用者34名 短期入所者1名 係長：林 係：高場・松下

4テーブルに別れて席を作り、各テーブルに鍋と具材がセットされました。職員が利用者さんの前で鍋を取り分けながら食事支援を行い、具材が無くなるまで皆さんにゆっくりと味わっていただきました。

## 21 職員年賀式

①日時 平成25年1月5日 土曜日 9時00分～9時05分

②場所 ともえ学園 職員室

③内容 早出、日勤職員全員 19 名 係：高田事務部長

新年を祝い、高田事務部長による司会進行で朝礼を行う前に開催されました。前岡園長より年頭の挨拶、年男・年女 3 名による今年の抱負があった後、ぶどうジュースで全員で乾杯しました。

## 2.2 年賀式

①日時 平成 25 年 1 月 6 日 日曜日 10 時 15 分～11 時 00 分

②場所 食堂

③内容 利用者 69 名 係長：桑田 係：岩戸・竹間

園長より年頭の挨拶、年男・年女の紹介、代表者挨拶、各グループの一年の抱負、福笑い、鏡開き、乾杯、「一月一日」を参加者全員で合唱、獅子舞登場という内容でした。閉会後に利用者さんには紅白饅頭と飲み物が配られました。

## 2.3 とんど

①日時 平成 25 年 1 月 17 日 木曜日 10 時 00 分～11 時 30 分

②場所 駐車場裏空き地

③内容 利用者 70 名 係長：掛川 係：熊澤・藤井

年男・年女の利用者さんにトーチを持って頂き、とんどに点火。当日は、積雪のために、利用者さんは建物の中から見学となり、とんどの火を見ながら一年間の無病息災を願いました。見学を終えて食堂にてお餅と、とんどの火で温められた竹酒が振る舞われました。

## 2.4 節分祭

①日時 平成 25 年 2 月 3 日 日曜日 14 時 00 分～15 時 00 分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者 70 名 係長：若床 係：瀬戸・魚見

スクリーンの画像を見ながら節分の由來説明がありました。はなまるグループの皆さんが創造活動で作成された鬼の的で、的当てゲームが行われました。職員が扮装した鬼や福の神の登場もあり会は盛り上がりしました。

## 2.5 ひな祭り

①日時 平成 25 年 3 月 3 日 日曜日 14 時 00 分～15 時 00 分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 参加利用者 67 名 短期入所者 1 名 係長：堂西 係：荒瀬、上川

ひな祭りについての話しを、スクリーンに映し出されたイラストなどを見ながら聞きました。各グループで作ったひな人形がひな壇に飾られ、皆さんの前で紹介されました。「うれしいひなまつり」の唄を全員で合唱し、最後には白酒で乾杯しました。

(宮崎静美)

# 9 対外行事

他施設や地域の方々との交流や親睦を図りながら、地域社会の理解を深める事を目的に実施。

## 1 広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会

①日時 平成 24 年 5 月 20 日 (日) 10:00～15:30

②場所 広島修道大学 グラウンド

③内容 参加利用者 20 名 職員 9 名 係長：竹間 係：見土

参加競技は、ゲート通し（団体）ともえ学園A・B・C・D・E、各3人で1チーム。卓球（個人）2人。フライングディスク3人、それぞれ参加されました。結果は、ゲート通し団体（ともえ学園C）が1位と好成績をおさめられました。

かんたんテントを1つ購入し2つ持参した事で、皆さん広々とテントに入る事が出来ていました。

## 2 ひろしま障害者フライングディスク競技大会inみよし

①日時 平成24年8月5日 日曜日 10時00分～15時30分

②場所 みよし運動公園テニスコート

③内容 利用者 4名 支援職員 魚見、熊澤

アキュラシー7m（一定の距離に置いた輪に10投し通過した枚数を競う）に参加しました。

結果は、20代（男・立位）優勝、20代（男・立位）2位、30代（男・立位）優勝、50代（男・立位）3位と好成績をおさめられました。

（宮崎静美）

## 10 外泊

### 1 ゴールデンウィークの外泊 4方面（広島、福山、呉、大竹）に車両を運行

平成24年4月29日（日）と平成24年5月5日（土）の2回、外泊のための車両を運行した。

外泊者数43名（療育センター宿泊利用1名） 学園車両使用者数 送り28名 迎え29名

### 2 お盆外泊 4方面（広島、福山、呉、大竹）に車両を運行

平成24年8月10日（金）と平成24年8月17日（金）の2回、外泊のための車両を運行した。

外泊者数42名（療育センター宿泊利用2名） 学園車両使用者数 送り27名 迎え25名

### 3 お正月外泊 4方面（広島、福山、呉、大竹）に車両を運行

平成24年12月29日（土）～平成25年1月5日（土）の2回、外泊のための車両を運行した。

外泊者数43名（療育センター宿泊利用1名） 学園車両使用者数 送り32名 迎え30名

### 4 まとめ

広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施。送迎車両をご利用されない方の外泊については、随時ご家族の希望日に外泊を実施しました。

大竹方面の受け渡し場所をインターチェンジとしていましたが、今まで利用していた駐車場が封鎖された事等により、12月29日（土）の送りから集合場所を変更しました。ご家族には、事前にお問い合わせとご理解とご協力をいただきました。その他、ご家族から外泊についての相談が続いており、柔軟な対応と受け入れで、無理のない外泊になるよう進めて行きたいと思います。

（宮崎静美）

## 11 午前日課活動

### 1 目的

- ・個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。
- ・天候不良時はマシンや用具を使用し機能維持の運動を繰り返す。

### 2 内容

◇リサイクルクラブ14名

- ・アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却（月 1 回売却）
- ・古新聞、ダンボールの回収整理し、量がまとまると業者へ売却（年間 3 回売却）

集合場所：センタースロープ 1 F 踊り場

#### ◇きのこクラブ 25 名

- ・しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け・ホダ場の整理

集合場所：センタープレイルーム

#### ◇野菜クラブ 17 名

- ・しいたけの植菌・花の苗栽培、学園周辺の管理・畑作り・グリーンカーテン

集合場所：センター大作業室

#### ◇クリーンクラブ 8 名

- ・掃除～生活棟、管理棟と療育センターの掃除
- ・衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける
- ・軍手洗い～活動後の洗濯済みを手干す

集合場所：センター玄関

#### ◇いきいきクラブ 5 名

- ・医務からの機能訓練プログラム・ウォーキング・用具使用のストレッチ

集合場所：生活棟レインボーリビング

### 3 まとめ

- ・5月に園芸ハウスの修繕をし、いらない物の整理をした。
- ・野菜や花を栽培し、畑で様々な野菜の栽培を試みた。FOXへの出荷は定期的にできた。天候不良時はトレーニングルーム 1・2 でマシンや用具使用のストレッチ。プレイルームで太極拳とストレッチやウォーキングを行った。
- ・リサイクルクラブは多くの方に協力していただき、空き缶の安定した在庫確保と収入源が確保できた。
- ・きのこクラブは、レインボーグループが責任者となり山林の管理とホダ木の運搬を行った。
- ・天地返しを行い、椎茸の収穫量が昨年を大きく上回った。天候不良時は野菜クラブとバッティングしないようにローテーションを組みトレーニングルーム 1・2 でマシンや用具使用のストレッチ。プレイルームで太極拳とストレッチやウォーキングを行った。
- ・ホダ木を扱う日は職員数を多く確保しなければならない。
- ・いきいきクラブでは支援職員が 2 名で看護課より準備体操から始まり口腔ケア体操、機能訓練プログラム・ウォーキング・用具使用のストレッチを行った。
- ・クリーンクラブでは職員 1 名を配置しセンターと生活棟、管理棟の掃除を行った。
- ・月例会は毎月定期的に行った。1 月よりセンタープレイルームで行う事になった。間食にはともえの畑でとれた物を使い厨房で調理してもらった。又、季節事に収穫物や花などを展示できた。来月も頑張ろうと思える取り組みでベストショット大賞を始めた。
- ・今年度は雨が少なく室内での活動が少なかった。冬季に入りようやく運動する機会が増えた。職員がプログラムに慣れてないので地道に継続して行きたい。
- ・次年度に向けてクラブ活動の配置人数や活動の見直しも必要。

（穂登原亮介、岩戸洋三、福永真也、藤 頼久）

## 1 2 入浴洗濯

### 1 取り組み

- ・利用者が安全で安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

### 2 内容

- ・シャンプー、ボディソープ、洗濯洗剤、柔軟剤、ソフランシート、バスマジックリン、酸素系漂白剤、汚物洗濯機用洗剤類等の資材が不足しないよう点検、補充、管理を行った。
- ・毎週日曜日の午前は、早出勤員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・入浴支援担当表を作成しスムーズな職員配置を組んだ。勤務変更があった場合は随時変更した。病院などの受診など急な職員不足にも対応出来た。
- ・体調不良の個室対応の利用者がいた場合、入浴時間の変更を行い感染防止に努めた。
- ・頭皮のフケや湿疹が見られる利用者(6名)はフルフルコラージュシャンプーを個人購入してもらい使用した。
- ・水虫などの感染防止、及び薬の塗布により床に付着した薬で滑る事が発生し、転倒を防止する事も考え、アルコール除菌剤を購入。薬塗布する職員がそれらを使用し床を何度も清掃する事で転倒事故を防いだ。
- ・職員の入浴支援用サンダル、長靴を用意した。
- ・浴槽内の吸盤式滑り止めマットを4枚更新した。(劣化し吸盤が浴槽内の床に付かなくなった)
- ・浴室の靴を置く棚の数が足りなかった為、大容量な棚に更新。長靴置きも設置。
- ・洗濯機の洗剤使用量、汚物洗濯機の操作方法等の説明書を分かり易い所に設置。
- ・汚物洗濯機用洗剤の保管場所を変更した。
- ・汚物処理機使用マニュアルを作成した。
- ・バスタオル、洗体用タオル、職員用タオルを更新した。古いバスタオルは床拭き専用雑巾として、職員用タオルは雑巾として再利用した。

### 3 課題

- ・脱衣場の天井にカビが発生しやすくなった。こまめに清掃するか換気について検討が必要である。
- ・換気扇を外す事が出来ず、本体を外しての本格的な清掃が必要。掃除が完了すれば換気が効率よく行われると考えられる。
- ・布団乾燥機使用中による排気が洗濯室室内にこもり、異臭を発していた。
- ・汚物処理洗濯機の容量不足。
- ・洗濯室を使いやすくする為のレイアウト。
- ・汚物洗濯機用洗剤の交換時、手に付着したり目に入りそうになり非常に危険であった。手袋と保護メガネを使用して交換した。(皮膚に付くとヤケド状になった。)

(中岡健太朗、堂西美保、竹林祐樹)

## 1 3 寝具

### 1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。

在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。

- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、シーツを持ち出す。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。
- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。

## 2 反省

- ・在庫確認やリネン庫の整理は出来ていた。洗濯後のシーツの片付けも洗濯室に溜まることもなく業者に回収してもらう事が出来た。
- ・今年度はノロウイルスが発生する事も無く、業者へ回収してもらう事が出来た。
- ・発注伝票の忘れがあったが、月曜日までには確実に在庫を確認することにより、発注数量は適切にできた。

(山地恵子、圓藤久明、竹林祐樹)

# 1 4 営繕

## 1 目的

- ・怪我のない安全な生活空間を保ち、依頼があった時はすぐに補修、改善を行う。
- ・生活の場としての快適空間の実現、改善を目指す。
- ・不良箇所の早期復旧作業を実現する。

## 2 実施内容

4月

- ・はなまる仕切り戸付近の壁 穴修繕
- ・トライ リビング横トイレ壁 穴修繕
- ・ベッド修繕・補強
- ・学園下用水路 倒木整理3本
- ・学園フェンス周り 除草剤散布
- ・学園進入路 斜面の除草、枝木・倒木整理
- ・リサイクルクラブ 机修繕
- ・園芸ハウス内 解体木材切断、処分
- ・センター大作業室 黒板取り外し、園芸ハウスへ移動

5月

- ・センター作業室1 扉の外れを直す
- ・センター作業室1 机の修理
- ・レインボーシャワー室の手指乾燥機を洗面室に移設
- ・洋服収納下の台車の改造
- ・ハウス裏 植樹した桜の木に支柱をつける
- ・リサイクル棟 床から出ている錆びたボルトをサンダーで切断

- ・居室入りドア 破れていた箇所にはベニヤ板を貼る
- ・ベッドの補修
- ・トライアングルと食堂仕切り戸周辺 壁の補修
- ・学園進入路 草刈り
- ・グラウンドと日勤駐車場裏に除草剤を散布

#### 6 月

- ・野菜、きのこ立て札作成
- ・ベッド処分
- ・工具掛けボード作成、設置
- ・レインボーリビング壁紙はがし
- ・壁の穴あき修理
- ・ベッド修理
- ・ドアなど色はがれ部にペンキ塗布
- ・廃バス周辺、学園入り口の草刈り

#### 7 月

- ・学園周り溝掃除
- ・学園進入路の倒木整理
- ・トライアングル壁補修 2 箇所
- ・居室壁補修
- ・レインボー壁紙貼り替え
- ・苗箱運搬用代車作成
- ・草刈り

#### 8 月

- ・草刈り
- ・トライアングル壁補修 3 箇所
- ・レインボー壁補修 2 箇所
- ・レインボー手指乾燥機移設

#### 9 月

- ・レインボー壁補修
- ・トライ、レインボー、はなまるドアクローザー交換
- ・トライアングル壁補修 3 箇所
- ・苗箱用の台車作り
- ・草刈り
- ・はなまる洗面所 水道取り替え

#### 10 月

- ・レインボーとトライアングル仕切り戸のドアクローザー交換
- ・食堂とトライアングル仕切り戸のドアクローザー交換
- ・トライアングル廊下居室の壁補修
- ・苗箱用の台車作成
- ・遊歩道、学園周りの草刈り

## 1 1 月

- ・居室 ドアクローザー交換
- ・フランス落とし交換（トライとレインボーの仕切り戸、トライと食堂仕切り戸）
- ・トライアングル リビング横トイレ壁補修
- ・畑周辺 除草剤散布
- ・センター周りの植木剪定
- ・コンパネ購入
- ・はなまる掃除機のノズル修理

## 1 2 月

- ・居室 扉ベニヤ板剥がれの修繕
- ・はなまる洗面所 奥の水道修繕（センサー故障）未修理
- ・レインボー指導員室の棚作成
- ・FOX 棚作成 2 台
- ・機械室 整理整頓
- ・トラクター オイル漏れ点検・清掃

## 1 月

- ・ベッド修理
- ・レインボー職員室ドアへこみ修理
- ・トライアングル壁紙はがれ修理
- ・浄化槽 下段ゴミ集め
- ・多目的棟雨樋 掃除

## 2 月

- ・センター周辺マンホール掃除
- ・トライアングル壁補修
- ・医務室ドア補修
- ・ベッド補修
- ・地下電線マンホール内の水抜き 2 箇所

## 3 月

- ・居室棚改造
- ・センターとはなまるの手指乾燥機を交換
- ・レインボーリビング天窓網戸の交換
- ・FOX 苗置き用棚に車輪を取付
- ・居室壁補修

## 3 まとめ

まずは壁の補修の仕方や機械・道具の使い方など基本的な営繕方法を係の者に覚えてもらいながら営繕を実施した。そのうちに各々で営繕箇所を探して、それに対応するようになった。また、新たに必要な物を作り出すような積極的な取り組みも行うようになった。

その他には春から秋にかけては草刈りに多くの時間を費やした。次年度も営繕係にとってはメインとなる内容だと考えられる。

反省点としてはネジや釘などの資材が不足することが多く営繕できないこともあったので、必要な

物は取りそろえておく必要があると思った。またベッドは部品も少なくなってきたので対応が難しくなってきた。ベッドをどうするのか今後の検討課題である。

(藤 頼久、竹間和輝、藤井秀樹)

## 15 親の会

### 1 概要

- ・ともえ学園入所者のご家族で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

### 2 事業

#### 1) 定例総会の開催

平成24年5月27日(日) 於：ともえ学園療育センター 48家族、64名参加

平成24年3月 9日(土) 於：ともえ学園療育センター 49家族、71名参加

#### 2) 役員会の開催

◇1回目 平成24年 5月27日(日) 於：ともえ学園療育センター

◇2回目 平成24年 6月24日(日) 於：ともえ学園療育センター

◇3回目 平成24年 7月22日(日) 於：ともえ学園療育センター

◇4回目 平成24年11月11日(日) 於：ともえ学園療育センター

◇5回目 平成25年 3月 9日(土) 於：ともえ学園療育センター

#### 3) 福利厚生…香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

#### 4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

#### 5) 入院時の付添看護料について。

#### 6) 親善球技大会 平成24年5月20日(広島修道大学 グラウンド)

#### 7) 美化演奏会の開催…平成24年6月24日(日) 於：ともえ学園療育センター

「学園美化活動とオカリナによる演奏会」 47家族65名参加

#### 8) 美化茶話会の開催…平成23年11月11日(日) 於：ともえ学園療育センター

「学園美化活動と各グループに分かれて意見交換を行う」  
44家族63名参加

#### 9) 懇親会の開催…平成24年3月 9日(土) 於：三次グランドホテル

37家族、53名参加。学園職員34名参加

#### 10) 例会の開催

平成24年7月22日(日) 於：ともえ学園療育センター 48家族、69名参加

#### 11) お楽しみ会の開催

平成24年7月22日(日) 於：ともえ学園療育センター 48家族、69名参加

#### 12) 河内ふれ愛祭り… 平成24年11月 4日(日) 於：河内小学校

「リサイクルバザー」の実施。前日準備。ご家族7名参加 売上金 54,200円

#### 13) 外泊の受け入れ、援助

◇平成24年 4月29日(月) ～ 平成24年 5月 5日(日)

◇平成24年 8月10日(金) ～ 平成24年 8月17日(金)

◇平成24年12月29日(日) ～ 平成25年 1月 5日(土)

#### 14) 親子レクリエーションへの参加

|          |                |            |
|----------|----------------|------------|
| ◇トライアングル | 平成24年10月 6日(水) | 14家族、16名参加 |
| ◇はなまる    | 平成24年10月 7日(木) | 17家族、19名参加 |
| ◇レインボー   | 平成24年10月 9日(金) | 16家族、29名参加 |

### 3 感想・今後の課題

今年度も例年通り毎月1回ずつ家族の方に来園していただく形で事業を実施した。お楽しみ会や親子レクなどは家族の方にも好評であった。体育祭は家族が参加をする競技もあり負担を掛けることもあった。美化作業に至っては掃除の範囲や道具の整備をすることで負担を減らした。年度末に次年度の事業を見直すこととなり、こうした経験と反省を元に新たな取り組みを考えなければならないが本当に家族や利用者が望む事業にする為に詳細なアンケート調査をし親の会総会で承認してもらうことが必要と考える。

(魚見敏満、桑田樹実、掛川陽介)

## 16 食生活

### 1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただけの快適な空間と支援を提供するため企画検討実施する。

### 2 内容

- ・各グループで必要に応じて利用者の席の変更を行った。
- ・席の変更等があった場合、机の座席表シールを交換した。
- ・手消毒用のジェスパやシャボネット、ウェス、新聞紙の補充を行った。
- ・ボランティアに依頼し食堂用テーブル台拭きを縫ってもらった。
- ・エプロンの洗濯のマニュアルを変更し、毎日夕方に洗濯するように変更した。
- ・毎週日曜日に各グループより一名ずつ集まり、食堂の汚れている箇所を清掃した。
- ・エプロンの汚れ、破損があった場合、エプロンを新しく更新した。
- ・新しく、首から下げるタイプのナプキン入れを購入した。
- ・食堂用台拭きが足りない日があったため、1日の使用枚数を規定する、台拭き使用マニュアルを作成した。
- ・食事の際に箸の他にスプーンやフォークが必要な方を記載した、スプーン、コップ配置表を作成した。
- ・定例外泊の際に利用者の方の在園、不在の出入りを記載した。定例外泊食事場所表を作成し外泊中の配膳をスムーズに行えるようにした。

### 3 課題・まとめ

- ・消耗品の補充や座席表シールの貼り替えが遅れる時があった。
- ・利用者の方の入所や退所などで食事場所の変更が何度かあったが利用者の方もスムーズに受け入れてもらった。
- ・台拭きマニュアルや配置表などは充実させることが出来た。
- ・台ふき管理の徹底が出来ておらず、次回の課題になっている。

(菅原献司、中岡健太郎、藤井秀樹)

## 17 実習

### 1 目的

自閉症や知的に障害がある方たちに対して、支援方法や人権尊重をふまえた理念を実習生に伝え、福祉専門職に就くために必要な技能と知識の一端を学んでもらう。

### 2 受け入れ状況

- ・平成24年8月6日～9月3日（内23日間）→徳島文理大学相談援助実習 1名
- ・平成25年2月18日～27日（10日間）→中国大学保育実習 2名

### 3 まとめ

- ・事前の施設訪問を行い、施設・利用者の特徴などを説明し施設見学を行った。また、自閉症に関して説明してあるDVDを貸し出し事前学習をしてもらい、実習に入る前に理解を深める。また、実習終了後にDVDを見た感想と、実習を終えてとの題で感想を提出してもらった。
- ・自宅から通えない学生に療育センターに宿泊してもらうが、夜間実習は取り止めとし「宿泊実習要領」のマニュアルを作成した。
- ・実習日誌は8月の反省を活かし、2月からは担当職員が後日でも記入することを徹底したため混乱はなかった。係の職員の勤務を実習に合わせて長く取ることで、実習生と関われる時間を多くした。

### 4 今後の課題

- ・総じて「言葉遣いが不適切」といった意見がよせられているが、実習生は職員を観ているもので、言葉遣いが悪いのであれば学園の職員側にも問題があることを自覚しなければならない。実習が始まる前に職員にも適切な言葉遣いの周知徹底も課題として残る。
- ・療育センター宿直室で宿泊する場合は、ボランティアの日と重なることを避けるため、係間での連絡を要する。

（荒瀬好司、竹間和輝、高場修治）

## 18 ともえ通信

### 1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成24年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は毎月1日に印刷。ご家族、理事、評議員に配布し、同時にホームページに掲載。

### 2 毎月の記事

- |               |                                                                         |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ◇5月1日発行 第289号 | ①4月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④花まつり ⑤5月の予定 ⑥新任職員自己紹介<br>⑦人事異動のお知らせ ⑧編集後記 |
| ◇6月1日発行 第290号 | ①5月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④母の日感謝祭 ⑤6月の予定 ⑥新任職員自己紹介<br>⑦編集後記          |
| ◇7月1日発行 第291号 | ①6月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④父の日感謝祭 ⑤7月の予定 ⑥人事異動のお知らせ<br>⑦編集後記         |
| ◇8月1日発行 第292号 | ①7月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー                                               |

|                      |                                                                                          |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|                      | ④七夕祭り ⑤8月の予定 ⑥新任職員自己紹介<br>⑦人事異動のお知らせ ⑧利用者さんの移動のお知らせ<br>⑨編集後記                             |
| ◇9月1日発行 第293号        | ①8月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④物故者追悼式 ⑤9月の予定 ⑥新任職員自己紹介<br>⑧編集後記                           |
| ◇10月1日発行 第294号       | ①9月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④体育祭 ⑤10月の予定 ⑥人事異動のお知らせ<br>⑦編集後記                            |
| ◇11月1日発行 第295号       | ①10月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④収穫祭 ⑤11月の予定 ⑥ご逝去のお知らせ<br>⑦利用者さんの移動のお知らせ ⑧編集後記             |
| ◇12月1日発行 第296号       | ①11月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④勤労感謝祭 ⑤12月の予定 ⑥人事異動のお知らせ<br>⑦編集後記                         |
| ◇1月1日発行 第297号        | ①12月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④クリスマス会 ⑤新年の挨拶 ⑥1月の予定<br>⑦人事異動のお知らせ ⑧編集後記                  |
| ◇2月1日発行 第298号        | ①1月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④年賀式 ⑤とんど ⑥2月の予定<br>⑦新任職員自己紹介 ⑧人事異動のお知らせ ⑨編集後記              |
| ◇3月1日発行 第299号        | ①2月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④節分祭 ⑤3月の予定 ⑥編集後記                                           |
| ◇4月1日発行 第300号<br>記念号 | ①3月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー<br>④ひな祭り ⑤4月の予定<br>⑥ともえ通信300号の発行にあたり ⑦編集後記<br>(高場修治、掛川陽介、荒瀬好司) |

## 19 研修

### 1 職員研修会

#### ①目的

- ・研修の機会の提供・利用者支援技術の向上
- ・障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識するため

#### ②内容

- |                   |             |     |        |
|-------------------|-------------|-----|--------|
| ・5月26日(土)         | 18:10～20:00 | 職員室 | 参加者21名 |
| 講師：安田女子大学教授 船津守久氏 |             |     |        |
| テーマ：「自閉症の世界へようこそ」 |             |     |        |
| 意見交換会：「虐待について」    |             |     |        |
| ・6月30日(土)         | 18:10～20:00 | 職員室 | 参加者13名 |

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「新型うつ病とどう向き合い、対応するか」

意見交換会：「日常の業務で困っていること」

- ・ 7月14日（土） 18：10～20：00 センタープレイルーム 参加者29名

講師：広島県社会福祉協議会人材育成センター 石井千恵氏、堀中嶽水氏

テーマ：「マナー&コミュニケーション研修」

- ・ 8月23日（木） 18：20～19：20 センタープレイルーム 参加者21名

講師：三次消防署職員 3名

テーマ：「救命救急について」（心肺蘇生法の学習、AEDの使い方）

- ・ 8月25日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者14名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「自閉症の人の行動の特徴」

ケース研究：レインボーグループ「Yさんについて」

- ・ 9月15日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者18名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「自閉症の人への理解と支援」

ケース研究：レインボーグループ「Oさんについて」

- ・ 11月24日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者16名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「自閉症の人の働く力を、どう育てるか」

ケース研究：はなまるグループ「Yさんについて」

- ・ 12月22日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者16名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「発達障害について」

意見交換会：今年、事例報告で取り上げた利用者さんのその後の様子について

- ・ 平成25年3月16日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者20名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「思春期、青年期のアスペルガー障害」

意見交換会：各グループで今年度力を入れて取り組んだこと、及び来年度に向けての思い

## 2 新任職員のビデオによる研修

### ①目的

- ・ 利用者に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・ 自閉症の理解を深める

### ②内容

- ・ 新任支援職員、看護課職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と、「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」の2本のDVDについて感想を提出してもらった。

## 3 新任職員研修

1回目・期 間：4月2日（月）・4月3日（火）

- ・ 対象職員 新任職員 熊澤誠治、藤井秀樹
- ・ 場 所：園長室、職員室

- ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：4月2日（月）～8日（日） 業務終了前の10分程度－上司
- 2回目・期 間：5月2日（水）・5月6日（日）
  - ・対象職員 新任職員 瀬戸 彩
  - ・場 所：園長室、職員室
  - ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：5月1日（火）～10日（木） 業務終了前の10分程度－上司
- 3回目・期 間：7月2日（月）・7月3日（火）
  - ・対象職員：新任職員 上川清美、山下英明
  - ・場 所：園長室、職員室
  - ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：7月2日（月）～8日（木） 業務終了前の10分程度－上司
- 4回目・期 間：8月7日（火）・8月8日（水）
  - ・対象職員：新任職員 松下善紀
  - ・場 所：園長室、職員室
  - ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：8月7日（火）～17日（金） 業務終了前の10分程度－上司
- 5回目・期 間：10月1日（月）・10月2日（火）
  - ・対象職員：新任職員 川崎明日香
  - ・場 所：園長室、職員室
  - ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：業務終了前の10分程度－上司
- 6回目・期 間：12月1日（土）・12月2日（日）
  - ・対象職員：新任職員 中野基行
  - ・場 所：園長室、職員室
  - ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：12月1日（土）～10日（月） 業務終了前の10分程度－上司
- 7回目・期 間：1月4日（金）・1月6日（日）
  - ・対象職員：新任職員 高森 強
  - ・場 所：園長室、職員室
  - ・内 容：ともえ学園の運営方針、パソコンの取扱、消防関係、知的障害/自閉症他、処遇関係  
ヒアリングを約一週間実施：1月4日（金）～12日（土） 業務終了前の10分程度－上司

#### 4 結果・課題

- ・職員研修会では船津守久先生に7回講義していただき、心理学を通して利用者さんへの理解を深めることができた。
- ・職員の意見交換の回数を増やし、各職員の考えや船津守久先生の助言を基に日々の支援の在り方を探ったが、ケース研究（処遇困難事例についての討議）もして欲しいとの意見も上がった。
- ・広島県社会福祉協議会人材育成センターより、石井千恵氏と堀中嶽水氏を講師に迎えた、「マナー&コミュニケーション研修」という講義は特に参加者も多く好評だった。

- ・参加者の増加を目指し、毎回各職員に参加を促すが、思うように参加率は上がらなかった。  
(濱本 豊、若床まゆみ、見土 唯)

## 20 ボランティア

### 1 概要

今年度もボランティアグループ三次の皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、アイロン掛け、顔拭きタオル縫いの作成をして頂いた。

### 2 施設見学

初めて来園された方には施設見学をして頂き、利用者さんが生活されている様子などを見て頂いた。又、分かりやすいように配置図や学園の要覧などを渡した。

### 3 作業

作業に不足している物があれば来園された時に聞きながら補充を行った。ミシンも不具合が多くあり作業が思う様に進まなかったりしていたので、業者に持って行き修理をし、使えるようにした。又、コードレス電話を置き使い方の説明をし、不具合や困った事などはすぐに電話で知らせてもらうようにしたところスムーズに終える事が出来た。

### 4 アンケート

今後の対応を向上させるためにアンケートに回答して頂いた。

### 5 受け入れ状況

- ・ 6月25日 青河地区 5名 見学なし
- ・ 7月23日 三次地区 4名 見学あり
- ・ 9月14日 八次地区 4名 見学なし
- ・ 10月15日 田幸地区 4名 見学なし
- ・ 11月26日 川西地区 4名 見学なし
- ・ 2月25日 河内地区 5名 見学あり
- ・ 3月25日 神杉地区 3名 見学あり

(岩戸洋三、桑田樹実、今田弘之)

## 21 あいさつ運動

### 1 目標

- ・笑顔を忘れず積極的にあいさつをして、接遇のレベルアップをした学園を目指す。

### 2 実施内容

①利用者さんや職員間の挨拶を積極的に行うよう啓発した。

- ・過去に掲げてきた目標を今後も引き続いて行った。
- ・昨年に持続して、司会者に朝礼時と施設見学時にタスキと腕章を付けてもらい、職員や利用者率先して挨拶を行ってもらった。

準備物：タスキ、腕章（前年の物を使用）

- ・「笑顔で」「元気にはっきりと」その日の出勤者や利用者さんに挨拶する。明るく、相手の目を見て、いつでも（気分に関わらず）、先に、続けて、+α（名前、五感を働かせた言葉等）おまけのひとつ言も、「はい」「どうぞ」「すみません」「失礼します」「お疲れ様です」

「おはようございます」「ありがとうございます」「こんにちは」「さようなら」

②挨拶をテーマに努力目標を掲示。

- ・職員室の掲示板に「あいさつ」のテーマ（努力目標など）を貼付。
- ・2ヶ月に一度、係職員が交替で作成し貼り替え、同時にサイボウズ周知も行った。  
（テーマは係職員で意見を出し合い、その都度検討した。）

6月：若床 8月：山地 10月：前田 12月：上川 2月：岡下

③研修会を実施した。

- ・7月14日 講師を招き「接遇」の研修会を研修係と合同で計画し実施した。

講 師 広島県社会福祉協議会 広島県社会福祉人材育成センター

石井 千恵先生 堀中 嶽水先生

内 容 「人に好かれるためのマナー&コミュニケーション研修」

④マナー大賞の実施（10月～2月）

- ・10月より「笑顔の部」「挨拶の部」「態度の部」「言葉遣いの部」「利用者対応の部」を設定し、好感の持てる人、お手本にしたい人を選んで投票してもらい、上位3名の職員を表彰した。  
投票箱は事務室に設置し、開票は挨拶運動係が行った。
- ・上位3名までを表彰し景品（1人300円以内）を贈呈した。
- ・表彰式は、11月以降の各表彰対象者出勤日の朝礼時、園長によって行われた。

10月『笑顔』 受賞者：藤美雪、藤田課長、山縣 担当：若床

11月『挨拶』 受賞者：藤頼久、荒瀬、宮崎支援部長 担当：山地

12月『態度』 受賞者：加藤、高田事務部長、濱本 担当：前田

1月『言葉使い』 受賞者：前岡園長、松本、穂登原 担当：上川

2月『利用者対応』 受賞者：濱本、掛川、藤頼久 担当：岡下

⑤挨拶レベルのポスターを掲示

レベル1 挨拶しない。

レベル2 挨拶をする。（お辞儀、会釈程度…言葉は発しない）

レベル3 「こんにちは」と言う。（声を出してお辞儀や会釈をする）

レベル4 笑顔で「こんにちは」と言う。（笑顔＋声＋動作）

レベル5 視線を合わせて笑顔で「こんにちは」と言う。（視線＋笑顔＋声＋動作）

⑥挨拶レベル認定実施（3月）

- ・挨拶レベル5と思われる職員に投票した。投票箱は事務室に設置し、開票は挨拶運動係が行った。
- ・職員の投票数が過半数に達したの人をレベル5と認定し、認定書と粗品を進呈した。
- ・受賞者：加藤、藤美雪

3 反省

- ・挨拶運動の見回りでは、利用者や職員に意識して挨拶ができる時間になっていた。
- ・マナー大賞や挨拶レベルを取り入れたことにより、職員同士がお互いの良い所を発見したり、見習ったり、自分自身を見直す機会にもなった。
- ・ともえ学園職員のマナーや、あいさつに対する意識の向上が図れた。

（若床まゆみ、山地恵子、上川清美、岡下チエミ）

## 2 2 ゴミゼロ運動

### 1 目的

- ・施設内外を清潔に保ち職員全体で住みやすい環境を整える。

### 2 取り組み

#### ①清掃活動

- ・年間の清掃場所と係員を決め清掃活動を行った。
- ・毎月第4土曜日の15：30から15分間を清掃活動とした。
- ・事前に場所と内容、参加者名を周知した。

参加者（各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名）

掃除箇所

- 4月28日 学園正面玄関清掃
- 5月26日 管理棟職員室清掃
- 6月23日 ゴミ倉庫内清掃
- 7月21日 療育センター玄関清掃
- 8月25日 男性更衣室清掃
- 9月22日 女性更衣室清掃
- 10月20日 食堂外側窓清掃
- 11月24日 学園正面玄関清掃
- 12月22日 管理棟職員室清掃
- 1月26日 管理棟宿直室清掃
- 2月23日 男性更衣室清掃
- 3月23日 女性更衣室清掃

#### ②ゴミゼロ啓発活動

- ・ゴミゼロ係4名が標語を作り、各部署に2点ずつ掲示。3ヶ月毎に貼り替えを行った。

##### 【標語】

- ◇ごみ拾う 心のゆとりを 大切に
- ◇ゴミ拾う そのひと手間で 綺麗な学園
- ◇もったいない 知恵と工夫で 再利用
- ◇片付いた 綺麗な環境 大切に
- ◇ともえ会 まかせろ ごみゼロ 流行らせろ
- ◇頑張ろう ゴミも私も 減量化
- ◇ひとりの努力 みんなの協力 ゴミゼロ運動
- ◇分別は ゴミと資源の 分かれ道

### 3 まとめ

- ・全体清掃活動は日頃掃除が出来ていない場所などを重点的に清掃出来る良い活動だと思う。  
15分の限られた短い時間での清掃活動だが、参加者が協力し合って効率的に活動を行えた。
- ・啓発標語の掲示は目にとまる事でゴミの減量化、資源の再利用についての意識を持ってもらえたと思う。

（渡邊 武、菅原献司、竹林祐樹、山縣圭子）

## 2 3 掲示物

### 1 活動

- ・今年度もホワイトボード（職員室）に掲示物を掲示。掲示物の整理も速やかにこまめな作業で、バランス良く掲示し、明瞭で清潔感のあるコーナーを継続できた。
- ・掲示する方法も統一出来て、閲覧する場合も簡単にホワイトボードから外して閲覧できた。
- ・掲示期間を終えて外した後も順番に保管し、必要な資料を見つけ易くした。
- ・係職員が一週間交代で、サイボウズ掲示板「広報物の紹介」とホワイトボードに掲示物の掲示、整理整頓を行った。
- ・掲示期限を同じスペースで書き込むことで、順番に見たとき期限を過ぎて削除しなければいけない掲示物が見やすく分かりやすくなった。

### 2 反省

- ・職員がもっと掲示物に興味をもつためには常に、新しいものが目に入り解かりやすいコーナー造りが必要だと思う。
- ・ホワイトボードを綺麗に見えやすく保つために、係員全員で整理する。
- ・分かり易い掲示板を心掛け、目を通してもらい、特に見てもらいたい物の掲示の仕方を工夫して行く。

（林 宏典、田原恵里、濱本 豊、瀬戸 彩）

## 2 4 消臭除菌

### 1 目的

- ①安心・安全・快適な環境の維持継続
- ②「菌」「臭い」「汚れ」を取り除く

### 2 内容

- ①清掃（日常清掃、巡回清掃、定期清掃、特別清掃）
- ②消臭（エアーケムの使用）
- ③除菌（ピューラックス、エコライザー、バイオボールの使用）

### 3 評価

- ①エアーケムの交換時期（1～2か月に1回）
- ②適正な物品使用（化学モップ、雑巾、掃除機）のチェック

### 4 教育と指導

- ①抗菌、防かび（微生物の殺菌、生菌についての基礎知識とそのための技術・評価法）
- ②感染予防策
- ③適正に実施されているかどうかラウンド、チェック、周知

（田村裕子、熊澤誠治、林 宏典、穂登原亮介、山下英明）

## 2 5 人権委員会

### 1 年間目標

- ・利用者、職員同士に於いても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・体罰を用いた支援は絶対に行わない。

- ・ 礼節ある言葉遣いとプライバシー保護への配慮をする。
- ・ 専門職間の相互支援による孤立の予防（より開放的にして関わる）

## 2 具体的重点目標

- ・ 利用者の呼称は、「さん」付けで統一する。
- ・ 上下関係での叱責語・命令語及び乱暴な言葉は使わない。
- ・ 高圧的で威圧するような働きかけはしない。
- ・ 利用者に対する人権侵害が起きる前段階で、職員同士で声を掛けあい侵害を未然に防ぐ。
- ・ 緊急やむを得ない身体拘束は職員側の立場ではなく、第3者の視点で自問自答し、必要があればグループで検討して対応を協議してもらう。

（不安定→検討→身体拘束→防災リーダーに報告→個室解錠→防災リーダーに報告→状況と施錠時間の記録）

- ・ 良い所を見つけて、褒める事を徹底する。

## 3 取り組み

- ・ 人権委員会から1ヶ月毎に人権に関する議題を提案し、各グループの定例会議で協議する。
- ・ 過去に論じ重要と思われる課題を再度提案し、現在に至る取り組みを知ってもらう。又、新任職員や長く勤務している職員にも再確認の意味も含めて協議し利用者に対する関わり方を再考してもらう。
- ・ 人権ポスターや標語を大きく印字した用紙を2ヶ月毎に、各グループに掲示する。
- ・ 身体拘束マニュアル及び身体拘束－緊急やむを得ない場合の対応を印刷し各グループに保管する。

※議題提案及び報告担当者

6月…堂西 7月…渡邊 8月…前田 9月…堂西 10月…渡邊

11月…松本 12月…前田 1月…堂西 2月…渡邊 3月…宮崎支援部長

※ポスター掲示担当者…松本（6月・8月・10月・12月・2月・4月）

## 4 各月の取り組み

6月…「良い所を見つけて褒める事に徹底する、とにかく顔を見たら褒める」

7月…「言葉づかいについて」

8月…「言葉使いについて」

※前回の報告で未だに呼称について出来ていない事が解ったため、再度確認してもらい、より深くグループで話し合いをしてもらう。

10月…「声かけについて」

※色々な場面がありますが、自分は出来ていると思いますか。

11月…「高圧的で、威嚇するような対応をとってしまうことはありますか」

12月…「言葉使いについて」

※未だに呼称が徹底していない事について

3月…「6月に挙げてもらった、良い所を見つけて褒めると言う事についてどうだったか」

◇9月～業務振り返りチェックシートを作成。毎月1回業務を振り返ってもらった。

## 5 まとめ・今後の課題

毎月の人権議題の提起が遅くなり、上手く進める事が出来なかった。ポスターは予定通り行えた。議題の提起では、昨年度も少し遅くなっていることがあったようだが、提起では何時も詰まってしまうのが正直な所なので、決められた期日に決められた事を発信する事が出来る様に来年度は考えて行

かなければと思う。

今年度は、「言葉使い」について何度も話してもらったが、それほど徹底出来ていなかったのか、高評価になかなかならなかった。再度振り返り反省をすることが必要だと考える。

(堂西美保、渡邊 武、松本和幸、宮崎静美)

## 2 6 見学者

### 1 概要

電話等での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時間帯をずらせたりなど十分な配慮を行い実施した。

### 2 見学受入日

- ・ 4月13日(金) 3名 入所希望(本人、ご家族)
- ・ 16日(月) 3名 入所希望(本人、ご家族、六方学園職員)
- ・ 30日(月) 4名 入所希望(本人、ご家族)
- ・ 5月16日(水) 4名 入所希望(本人、ご家族、六方学園職員)
- ・ 6月19日(火) 4名 入所希望(本人、成年後見人、庄原市保健医療課保健師)
- ・ 7月 6日(金) 2名 入所希望(本人、成年後見人)
- ・ 7月17日(火) 3名 利用者さんの状況確認と聴き取り(入所依頼先：緑風園)
- ・ 19日(木) 25名 地区会長等先進地視察(香川県坂出市民生児童委員)
- ・ 10月 1日(水) 4名 施設見学(庄原特別支援学校生徒、両親、先生)
- ・ 26日(金) 3名 施設見学(将来、施設入所を考えて)
- ・ 11月27日(火) 12名 施設見学(障害者支援施設いくせい 保護者会)
- ・ 3月14日(木) 3名 入所希望(本人、ご家族、どんぐり学園職員)
- ・ 23日(土) 3名 入所希望(本人、ご家族)

(宮崎静美)

## 2 7 防災

### 1 目的

- ・ 災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・ 消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・ 緊急時への対応能力向上を図る。

### 2 新任職員対象の防災研修会の実施

#### 1) 研修内容

##### ①利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

施設個所の確認

危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と注意事項

##### ②消防関係：「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得

消防設備及び施設設備を実地見学

③AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

### 3 緊急時の対応

「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検を随時実施。

「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を確認している。

### 4 消防訓練実施状況（◎は防災リーダー）

① 4月25日 水曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎藤田・全員

通報：消防署…携帯電話使用：藤田 監視者：園長・宮崎

② 5月28日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎久保・菅原・穂登原

監視者： 宮崎・塚本・藤田

通報：消防署…非常通報装置、一斉メール送信ボタン使用者：菅原

消防署からの逆信対応訓練… 高場

③ 6月15日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎堂西・林 ・岩戸

監視者： 宮崎・塚本・高田

通報：消防署…非常通報装置、一斉メール送信ボタン使用者：林

消防署からの逆信対応訓練… 前田

④ 7月14日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎高場・圓藤・魚見

監視者： 高田・宮崎・藤田

通報：消防署…非常通報装置、一斉メール送信ボタン使用者：圓藤

消防署からの逆信対応訓練… 堂西

⑤ 8月23日 木曜日 消防署立ち会い夜間想定総合訓練 訓練者：◎濱本・見土・竹間

※消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出 監視者： 藤田・塚本・久保

通報：消防署…119番通報：濱本

⑥ 9月21日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎高田・全員

通報：消防署…携帯電話、一斉メール送信ボタン使用者：高田 監視者：宮崎

⑦10月27日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎桑田・中岡・竹林

監視者： 宮崎・久保・藤田

通報：消防署…119番通報、メール送信使用：桑田

⑧11月16日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎山地・今田・荒瀬

監視者： 塚本・久保・宮崎

通報：消防署…119番通報、メール送信使用：山地

⑨12月17日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎藤・若床・前田

監視者： 塚本・久保・藤田

通報：消防署…119番通報、メール送信使用：藤

⑩ 1月23日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎後田・全員

監視者：宮崎

通報：消防署…119番通報、メール送信使用：後田

⑪ 2月22日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎掛川・熊澤・藤田

※消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出 監視者： 久保・宮崎・高田

通報：消防署… 1 1 9 番通報、メール送信使用：掛川

⑫ 3月16日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎渡邊・瀬戸・藤井  
監視者：久保・宮崎・藤田

通報：消防署… 1 1 9 番通報、メール送信使用：渡邊

## 5 消火器使用訓練実施状況

消火器使用未経験者等16名を対象に、消火器を実際に使用して訓練を実施。

訓練場所：職員日勤駐車場フェンス外側

実施日時：4月 9日 若床、荒瀬（対応：園長・宮崎） … 1 1 時 2 0 分～  
1 0日 桑田、菅原、藤井（対応：園長・宮崎） … 1 1 時 2 0 分～  
1 2日 藤川、濱本（対応：宮崎） … 1 1 時 2 0 分～  
1 4日 岡下、藤美雪、熊澤（対応：宮崎） … 1 4 時 3 0 分～  
2 0日 掛川、田原、松本（対応：宮崎） … 1 4 時 3 0 分～  
9月15日 瀬戸・上川（対応：園長・宮崎） … 1 1 時 2 0 分～  
2 2日 山下（対応：宮崎） … 1 5 時 0 0 分～

## 6 消防設備点検 9月、3月 専門業者に委託し実施

（宮崎静美）

## 2 8 朝礼

### 実施概要

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。

開会挨拶、服装と身嗜みのチェックから始まり、各グループ、全体係、その他からの報告、予定などの報告、出勤職員の体調状況の報告、笑顔の練習、最後に閉会挨拶で終了する。

毎月9日にはAEDと人工呼吸器のチェックを行った。

聞きやすい話し方を目指すため、朝礼時の司会や発表者についてアンケートを行い、結果を随時該当者へ伝えていった。

発表者の声の大きさやマイクの位置などを再確認し、さらに聞き取りやすい環境を整えていく。

（高田孝康）

## 2 9 処遇

### 1 処遇会議

支援部長と支援課長で構成し、毎月の月末、翌月の運営会議開催日までに会議日を設け、予定調整や利用者処遇についての協議、意見交換、情報を共有し利用者サービスの向上を目指した。

会議の経過及び結果は処遇会議録に記入し、処遇の統一を図るため職員全員に周知した。

### 2 個別支援計画

4月1日と10月1日の年に2回、利用者全員の生活介護個別支援計画書と施設入所支援個別支援計画書を作成し、同意していただき承諾を得て行った。

個別支援計画作成後には半年毎に、各ケース担当、各部署部課長により会議を開催しモニタリングを行った。

（宮崎静美）

## 3 0 運営会議

### 実施概要

園長、全ての部課長の8名で構成され、毎月、月初めに開催し協議した。

会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。

資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。

会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(高田孝康)

## 3 1 安全運転管理者

### 1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

### 2 内容

- ・トライザセーフティ i n ひろしまへ9チーム参加
- ・安全運転管理者講習会への参加
- ・安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・全車両へのドライブレコーダー設置
- ・各季の交通安全運動の周知
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼

### 3 まとめ

- ・トライザセーフティ i n ひろしまへ参加した9チーム中6チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。全チーム達成が出来なかったことは、安全運転への啓発が不十分であったことも一因となっていると思うので、啓発活動の強化を考える。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(塚本博志)

## 3 2 危険物取扱者

### 1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

### 2 内容

毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器等、所定の点検項目に従い、点検を行った。

また、年に1度の地下タンク貯蔵所定期点検については、11月16日に実施した。

地下タンクの残量については、毎日17時に測定し、記録して使用量を確認した。

(後田喜代子)

## 3 3 エコロジー

### 1 理念

- ・ともえ学園でも出来る環境保護を実践し、社会に貢献する。
- ・エコロジーについて一人ひとりが考え、エコの観点から業務の中で改善できる所は実践してもらう。
- ・便利で快適な「エゴライフ」から、「エコライフ」への意識改革。
- ・活動を通じ地球環境保護への意識を高めてもらう。

### 2 内容

#### ◇エコキャップ回収運動

引き続き、ペットボトルのキャップ回収を行い、3月末に三次市役所環境政策課に持って行く。  
(午先日課のリサイクルクラブでもキャップを集めをする。)

#### ◇プルタブ回収

引き続き、プルタブの回収を行い、アルミ缶売却と共に太田金属に売却する。

#### ◇エコロジー意見の募集

職員全体に意見を募集する。募集した意見の中で出来る事は検討し実践する

#### ◇消費電力の多い、職員室、リビングからLED電球に積極的に交換していく。

### 3 反省

- ・ペットボトルのキャップを3月26日に持って行った。
- ・11月頃に職員室のキャップ入れが無くなっていたがすぐに作成しなかったのでキャップ集めが疎かになってしまった。

(福永真也、熊澤誠治、魚見敏満、藤 美雪)

## 3 4 広島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会

### 1 概要

広島県知的障害者福祉協会の各施設の支援スタッフ部会員として、施設から選任され参加した。

### 2 支援スタッフ部会義

2月4日 第3回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ出席 場所：光清学園  
内容

- ・支援スタッフ部会の活動内容について
- ・スタイルファッション誌の企画について
- ・日頃の支援の悩みや活動内容について
- ・他施設のクラブ活動の内容について

#### 感想

支援や個別支援計画、クラブ活動など悩みを相談し、色々な取り組み方法を教えてもらった。

また、施設見学もさせていただき他の施設の取り組みなどを教わる事ができた。

今回が初めての参加だったため実態が良く理解出来なかったが、継続して参加することにより、積極的な活動も出来るものと思う。

尚、平成24年度は備北障害保健福祉圏域会議については開催されなかった。

(岩戸洋三)

## 3 5 ホームページ

### 1 概要

平成13年10月から開設したホームページも11年6か月が経過し19万アクセスになろうとしている。

常に新鮮な情報と共に、資料的なものを、ホームページビルダーや無料のサイトを活用して、公開してきた。

出来るだけシンプルでわかりやすいページの作成に配慮している。

### 2 内容

航空写真を撮影し、トップページの写真を更新した。

携帯サイトについては、アクセス数も少ないこともあり、閉鎖した。

職員名簿から全職員に直接メールが送られるよう、メールリンクを設定していたが解除した。

毎月定例で、初日に行う「利用者の状況」「ともえ通信」「待機人数」「アクセスカウンター記録」の更新と共に、3つのグループと厨房の出来事については毎日ブログを更新した。

また、浄化槽清掃記録は毎週土曜日、職員名簿は人事異動の都度、さらにアルミ缶等売却記録についても随時更新した。事務室、園長室、支援部長室、無人販売所のブログも掲載し、ウェブカメラや各種資料についても可能な限り公開した。

献立予定表についても、献立表作成の都度更新した。

アンケートのページから時たま送られてくる意見も参考になった。

### 3 まとめ

今後も、個人情報に充分配慮しながら、施設への理解をより深めていただくために旬の情報を提供していきたいと思う。

(前岡孝司)

---

## 平成24年度 事業報告書

---

平成25年5月25日発行

---

### ともえ学園（障害者支援施設）

---

〒728-0002 広島県三次市西河内町250番地  
電話 0824-62-5130 ・ FAX 0824-62-1934  
E-mail tomoe@pl.pionet.ne.jp  
URL <http://www.pionet.ne.jp/~tomoe/>

---